初級編

目次

1 A's（エース）の起動 3

はじめに....3
A's（エース）グループ....3
物件管理....4
　新規顧客登録....4
　プラン登録....4
物件概要....5
クイックメニュー....6
メインメニュー....6
ウィンドウ構成....7

2 プラン図 8

作成するプラン図....8
壁....9
部屋....11
　主区画....11
　水廻り....12
　収納....12
　その他....13
壁の調整....14
　全開口....14
　ポーチ壁....14
　外部下り壁....15
建具....16
　建具自動配置....16
　建具の追加....17
　建具の削除....17
出窓....18
内観部品....19
階段....20
リアルタイム連動....21
付属品....22
　ポーチ....22
　テラス....23
　換気扇....23
　庇....24
寸法線....25
２階プラン....26
　階層変更....26
　壁....26
　部屋....28
　建具....29
　内観部品....30
　バルコニー....31
　寸法線....32
画像出力....33
　１階の画像出力....33
　画像登録....33
　２階の画像出力....34

3 屋根伏図 35

屋根伏図の起動....35
屋根自動配置ウィンドウの操作....36
地回り範囲の追加....36
屋根自動配置....37

4 外構図 38

外構図の起動....38
外構セット配置....39
表示部材の利用....40

5 3D パース 41

3D パースの起動....41
リアルシェーディング....41
視点プロパティ....42
視点設定・登録....42
ファイナルギャザー....43
　レンダリング画像の登録....44
　レンダリング画像の印刷....44
内観パース....45
　視点設定....45
アプリケーションの終了....46
データの保存・終了....46

1 A's（エース）の起動

はじめに

本書は、A's（エース）を初めてお使いになる方のための、トレーニングマニュアルです。
シンプルな操作で、スピーディーにパース（外観・内観・断面・鳥瞰）を作成することを目標として、機能を厳選して説明しています。
また、操作方法習得が目的のため、一般的でない表現もあります。予めご了承ください。

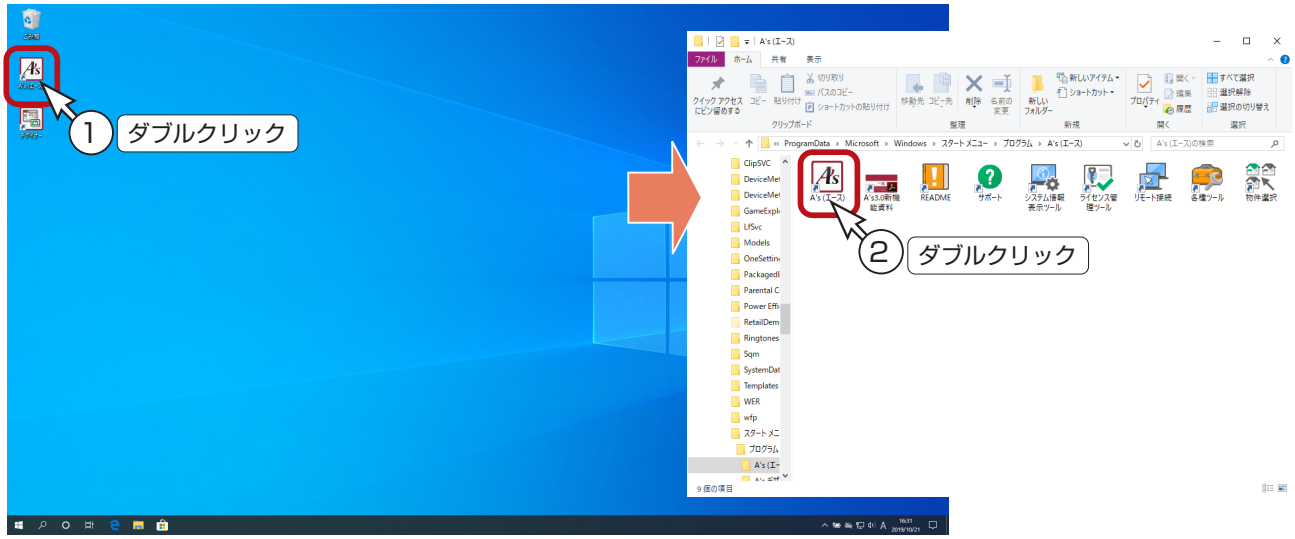
A's（エース）グループ

①デスクトップの (A's（エース）) をダブルクリック

＊「A's（エース）」グループの画面が表示されます。

②グループ内の (A's（エース）) をダブルクリック

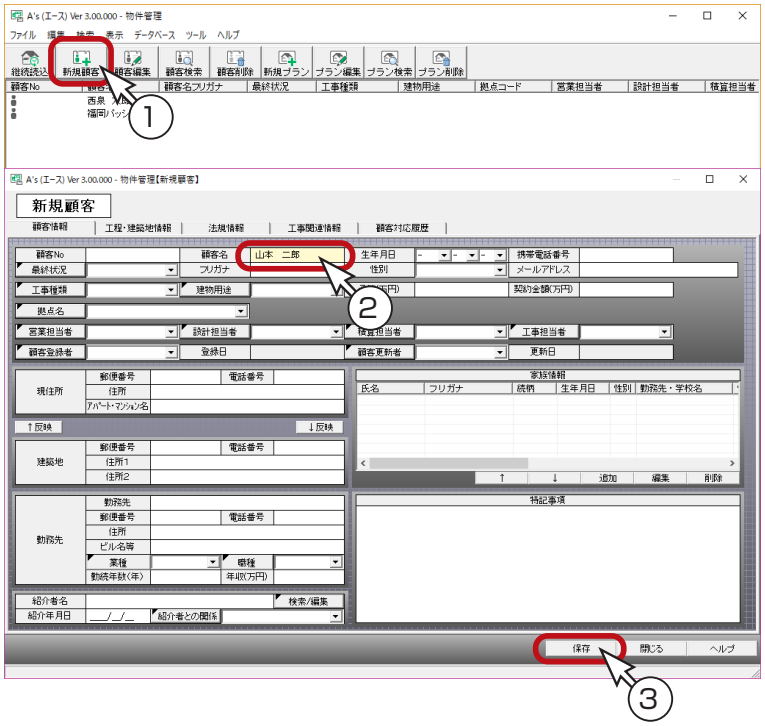
＊物件管理の画面が表示されます。



デスクトップやプログラムグループの画面表示は、ご使用のパソコンにより異なる場合があります。

物件管理

新規顧客登録



①物件管理画面にて をクリック

＊顧客情報入力画面が表示されます。

②顧客情報を入力

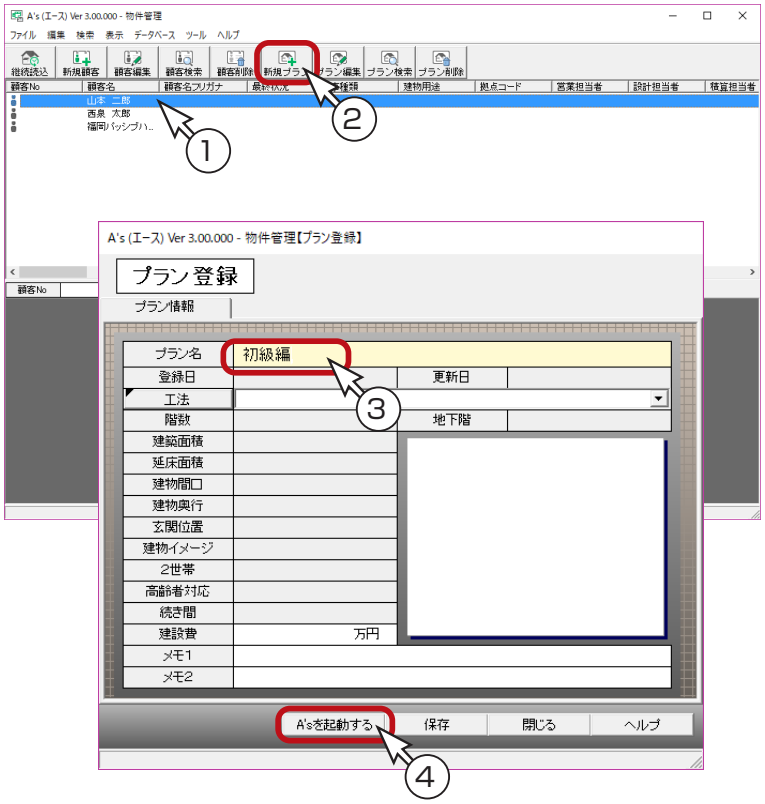
＊例えば、顧客名に「山本　二郎」と入力します。

＊その他はここでは省略しますが、必要に応じて入力してください。

③「保存」をクリック

＊物件管理の画面に戻ります。
入力した顧客情報が、顧客ビューに表示されます。

プラン登録



①追加した顧客（山本　二郎）を選択

② をクリック

＊プラン登録の画面が表示されます。

③プラン名を入力

＊例えば「初級編」と入力します。

＊プラン名以外は省略しますが、必要に応じて入力してください。

④「A's を起動する」をクリック

＊物件概要の画面が表示されます。

物件概要

物件概要では施主名や担当者、高さ情報の初期値等の情報を設定します。

「施主名」は自動入力

物件管理から物件概要に進むと、「施主名」には顧客名が自動入力されます。

①「施主名」を確認
②「建物階数：地上２階」「建物タイプ：木造一般仕様」に設定
　＊その他の設定はここでは省略しますが、必要に応じて入力してください。
③「リフォーム機能を有効にする」は、☐であることを確認
　＊チェックが入っている場合は外してください。
④「OK」をクリック
　＊しばらくして、メインメニューとプラン図の画面が表示されます。

会社情報

各種図面やプレゼンボードに連携する情報を入力できます。

ページ切替

左側のボタン、または〇のクリックにより切り替えが可能です。

物件概要の反映について

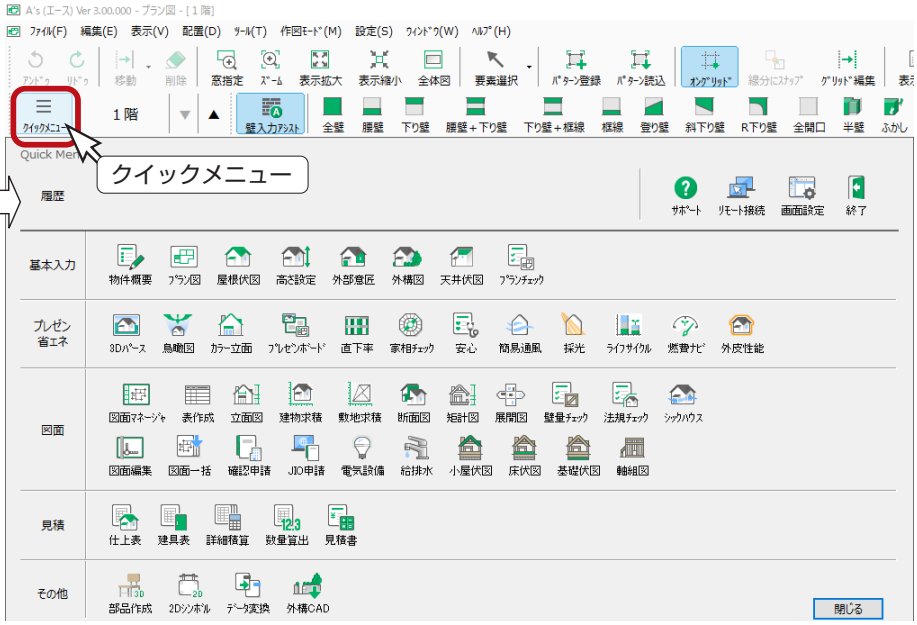
物件概要には、基本情報、会社情報、建物高さ、建物仕様、計画概要の５つの入力画面が用意されています。ここで入力したデータは、確認申請書や各種図面に反映します。
会社情報以外は、左下のボタン、または〇のクリックにより、入力画面を切り替えます。

クイックメニュー

本システムは、複数のアプリケーションで構成されています。
そこで、各アプリケーションを起動するための窓口として、クイックメニューと呼ばれる起動ツールを用意しました。

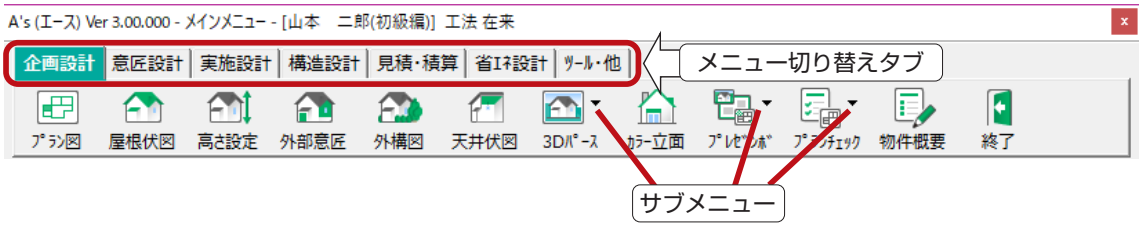
プラン図等の画面で、 （クイックメニュー）をクリックすると、全アプリケーションのアイコンが表示されます。

アイコンをクリックすると、該当のアプリケーションが起動します。



メインメニュー

クイックメニュー以外に、メインメニューから各アプリケーションを起動することもできます。
メインメニューのアイコンをクリックすると、該当のアプリケーションが起動します。



＊▼は、サブメニューがあることを示しています。
＊メインメニューは、お使いのシステム構成によって異なります。

次回起動時の動作設定

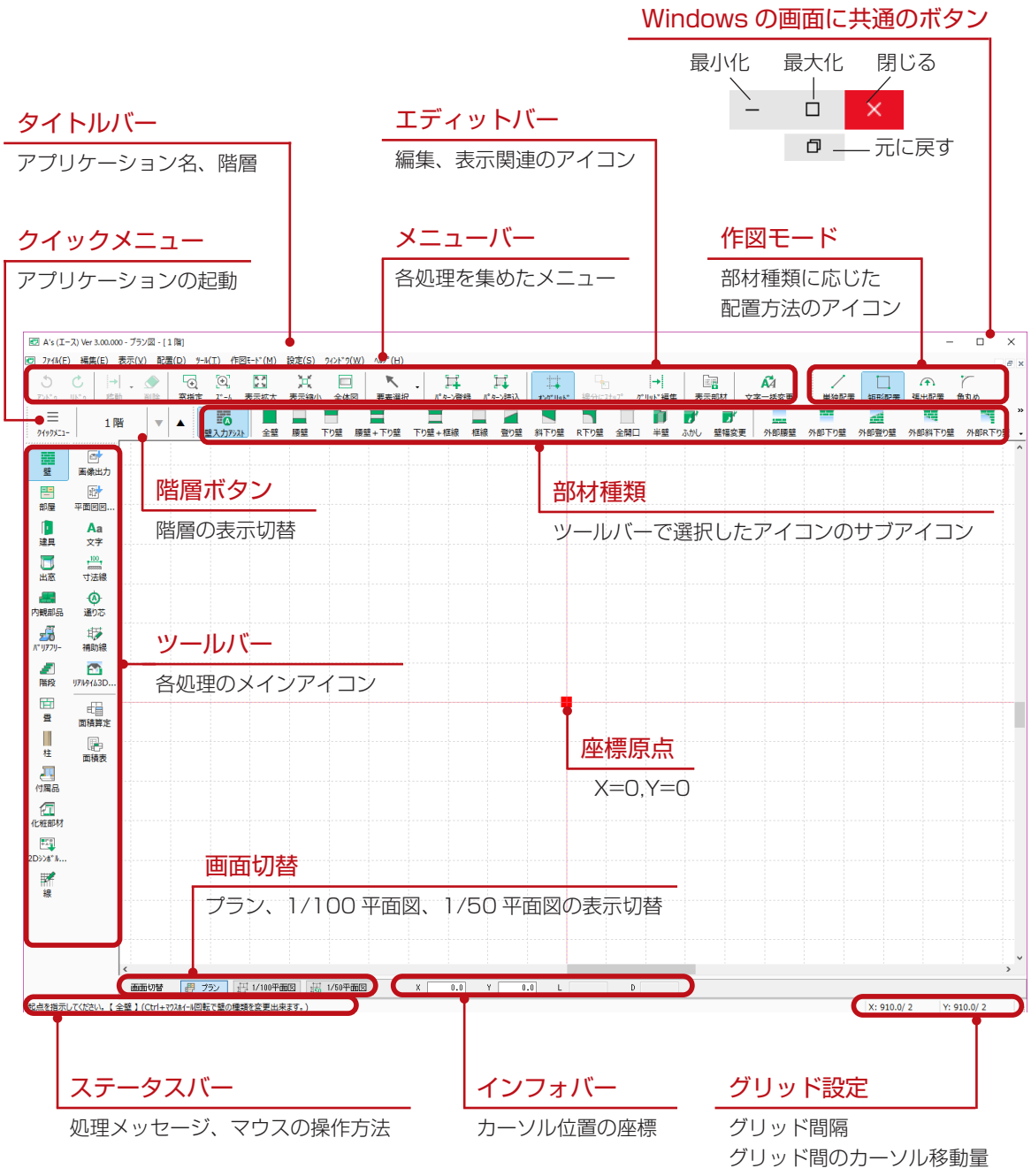
メインメニューの右クリックメニューの「動作設定」では、次回起動時の動作を設定できます。
新規物件起動時、既存物件起動時について、それぞれ「プラン図を起動する」「外構図を起動する」「メインメニューのみ起動する」のいずれかに設定できます。

お試し版について

アイコンに が表示されているものは、お使いのシステム構成に含まれていないアプリケーションです。
Web ライセンス認証でご利用いただいている場合に、14 日間お試しいただけます。
なお、お使いいただけるアプリケーションのみを表示する場合は、クイックメニュー、またはメインメニュー「ツール・他」タブの （画面設定）にて、設定を変更できます。

ウィンドウ構成

「プラン図」「屋根伏図」等、各アプリケーションは独立したウィンドウを持っていますが、構成はほぼ同じで、操作方法も基本は同じです。例えばプラン図のウィンドウは、以下のような構成になっています。



アイコンスタイル

クイックメニュー、またはメインメニュー「ツール・他」タブの （画面設定）にて、アイコンスタイルを変更できます。
本マニュアルで使用しているアイコンスタイルは、「ボタン名を表示する」「大きいアイコン」になっています。

2 プラン図

作成するプラン図

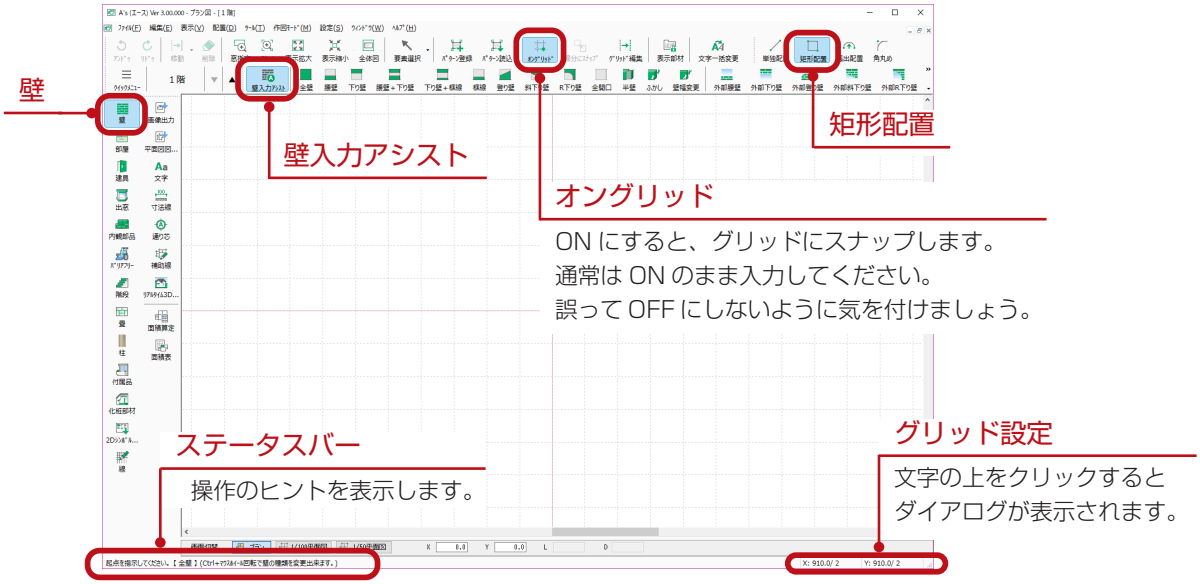
■１階

■２階

壁

プラン図の画面を表示すると、初期はツールバーの (壁)が押されており、 (壁入力アシスト)で、 (矩形配置)が選択されています。また、 (オングリッド)も押されています。

グリッドの初期値は、ＸＹともに間隔が「910」mm、分割数が「2」になっています。



■壁入力アシスト

それでは、壁入力アシストを使用して、壁を入力しましょう。建具部分や開口部分は気にせず、入力していきます。

① (壁)⇒ (壁入力アシスト)⇒ (矩形配置)を確認

②ステータスバーに【全壁】の表記があることを確認

＊異なる場合は [Ctrl] ＋マウスホイールで変更できます。

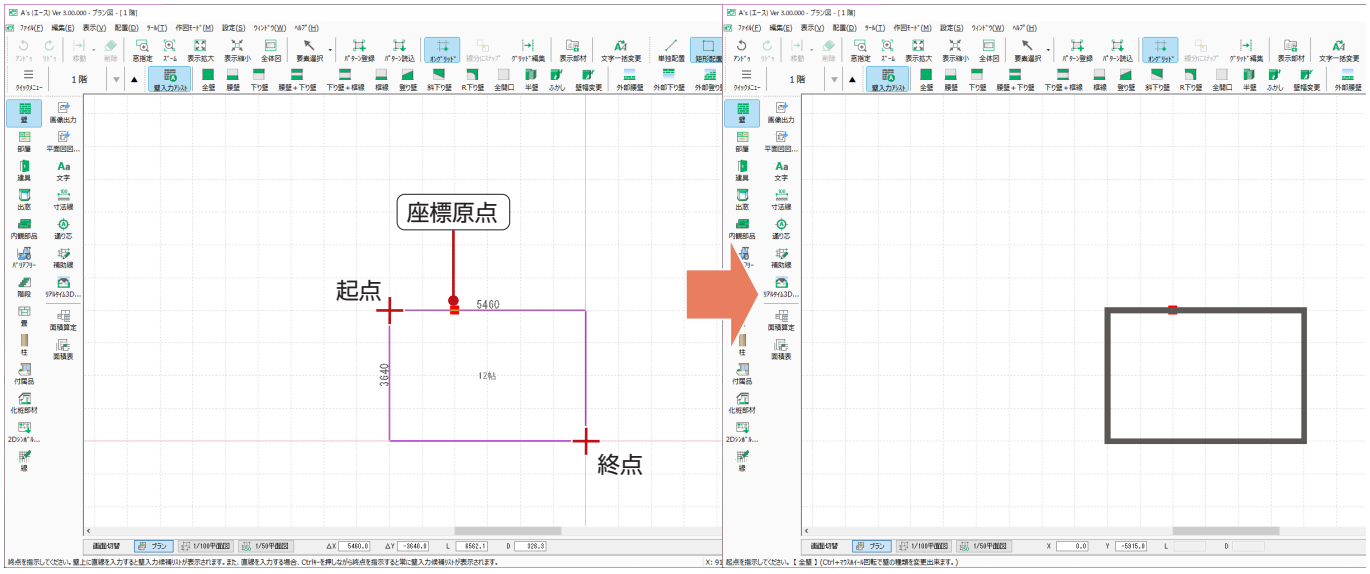
③下図のように、起点－終点を指示

＊ 5460 × 3640（12 帖）の区画を取ります。

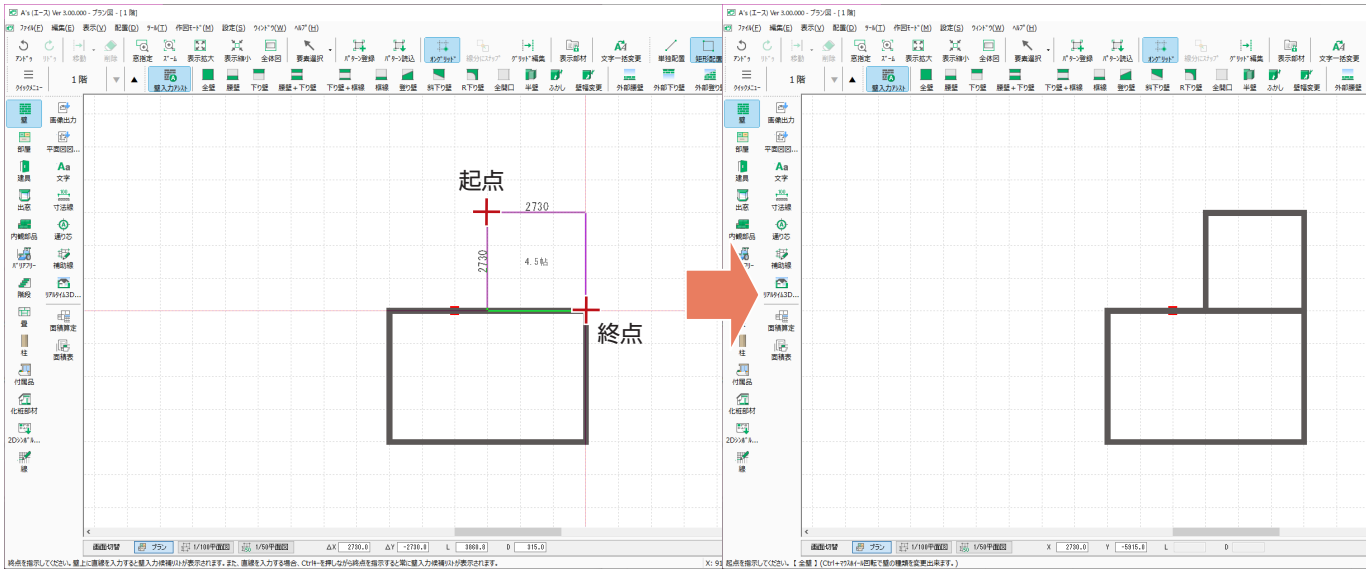
＊作図位置は座標原点（赤色の■）を参考にしてください。

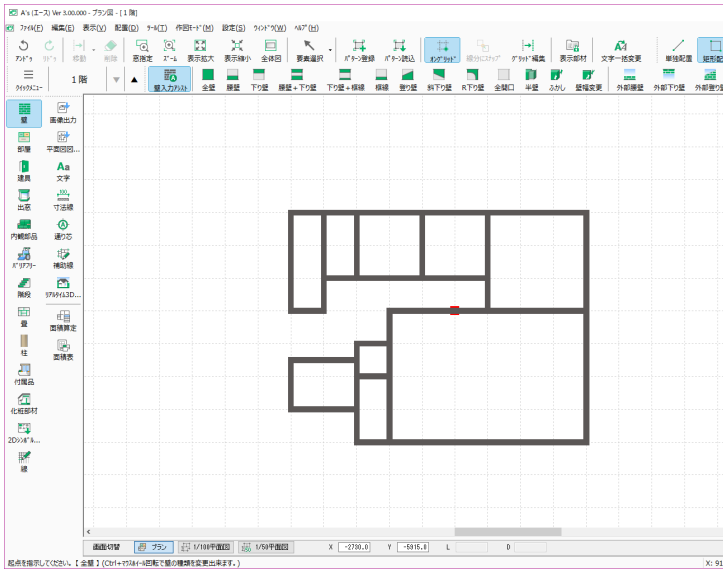
ここで説明する入力方法は一例です。
他の入力方法もあります。

必ずオングリッドで入力します。

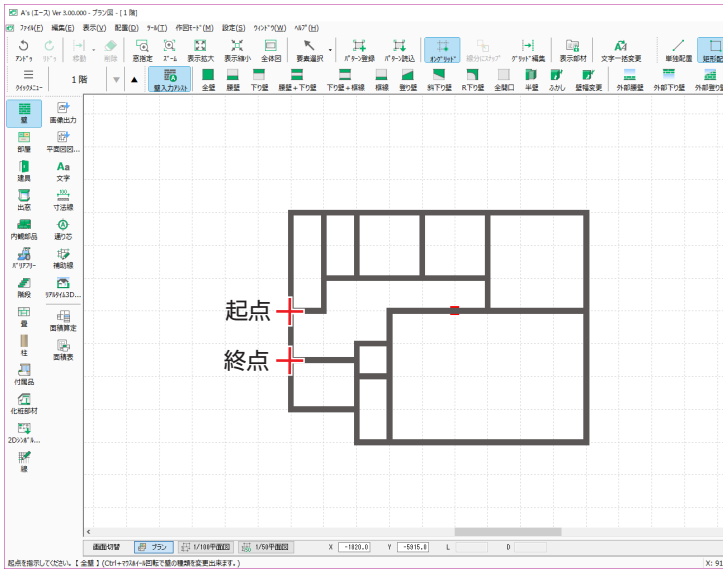


④続けて、下図のように起点－終点を指示
　＊壁は重ねて入力してもかまいません。





⑤続けて、左の図のように、全壁を矩形配置



⑥続けて、左の図のように、起点－終点を指示
⑦右クリック
　＊矩形配置でも、一直線上に指示すると連続配置モードになり、入力が続きますので、右クリックで解除します。

部屋

「全壁」で間取りを入力後、部屋名設定を行います。
部屋名設定は、部屋名を示す文字を入力すると同時に、床・天井面の生成、建具の面材・高さ判定の基準となります。

主区画

①ツールバーの (部屋) をクリック

＊ショートカットキーは［R］です。（日本語入力 OFF で有効）

② (部屋) を確認

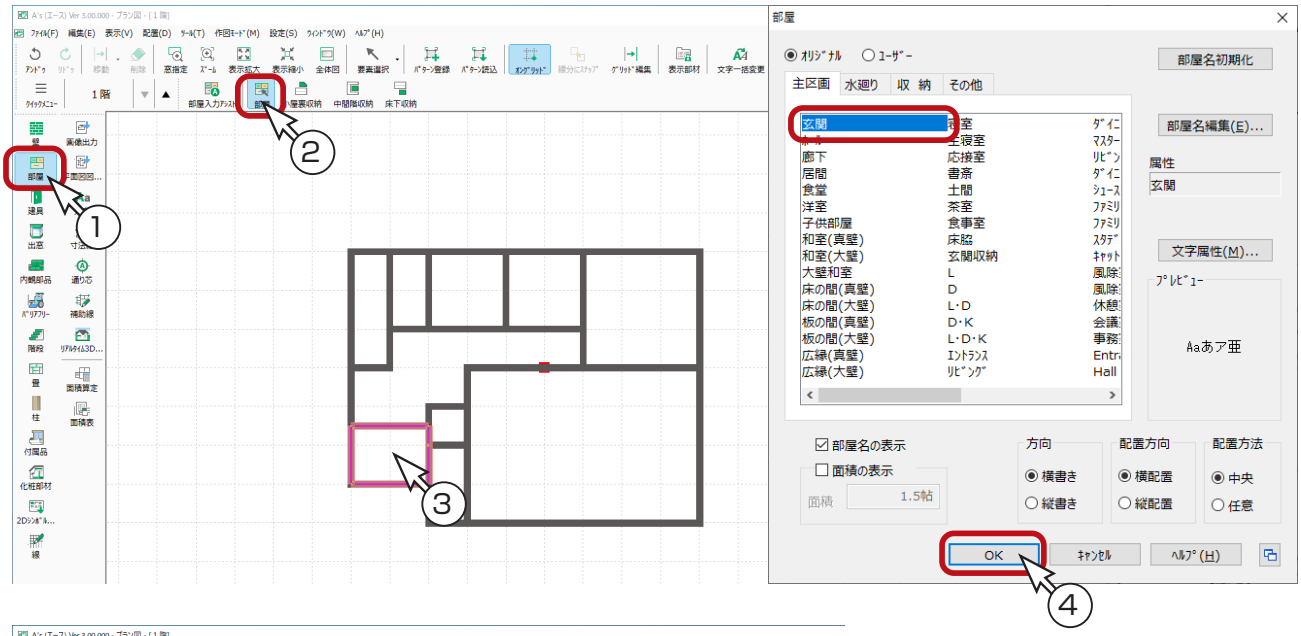
＊部屋入力アシストのダイアログが表示された場合は、「閉じる」をクリックしてから、 (部屋) をクリックしてください。

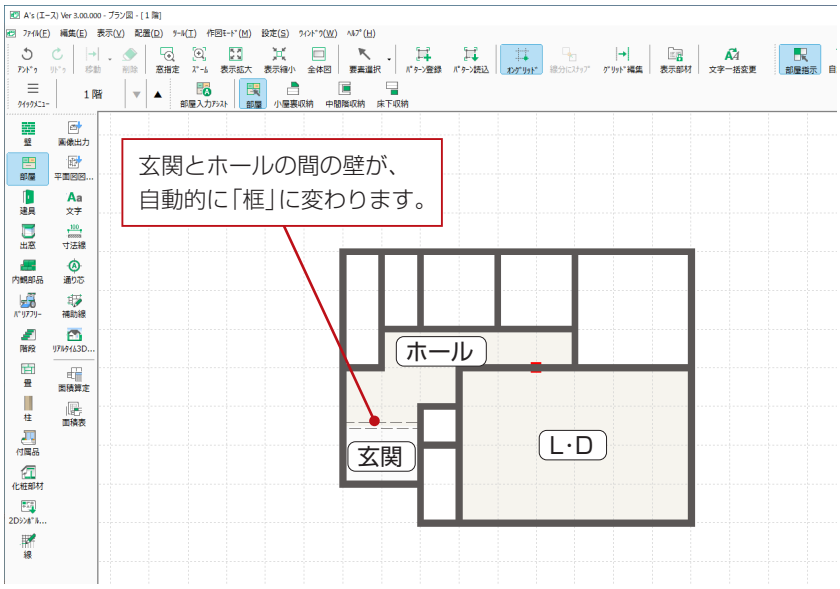
③玄関にする部屋の中をクリック

＊部屋のダイアログが表示されます。

④「玄関」をクリックし、「OK」をクリック

＊「玄関」をダブルクリックしてもかまいません。玄関が設定されます。





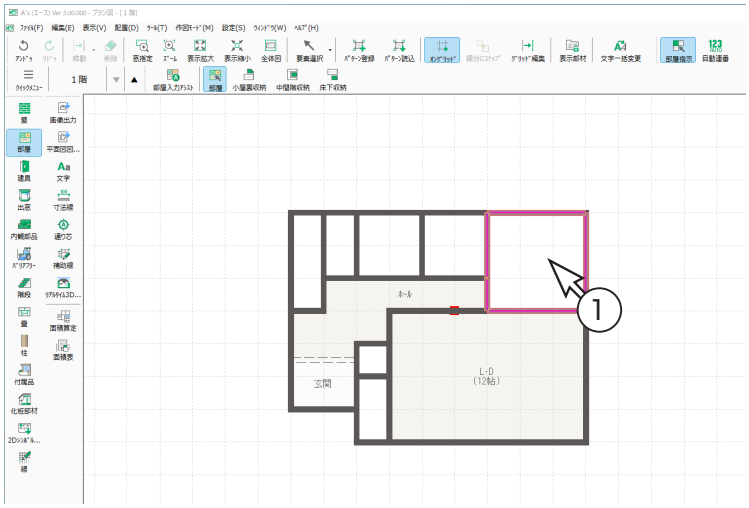
⑤続けて、他の主区画の部屋を設定

＊主区画は他に、ホール、L･D を設定します。

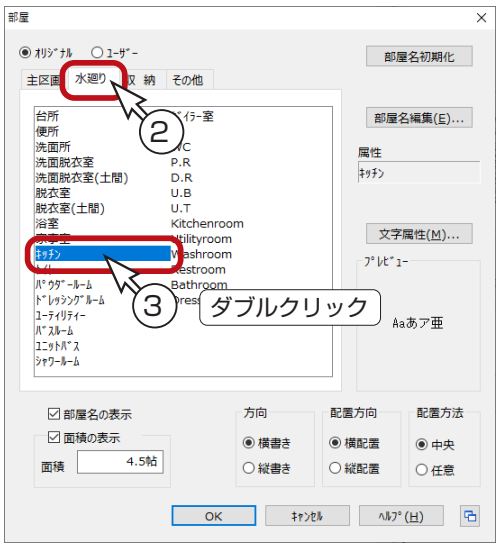
部材自動認識配置

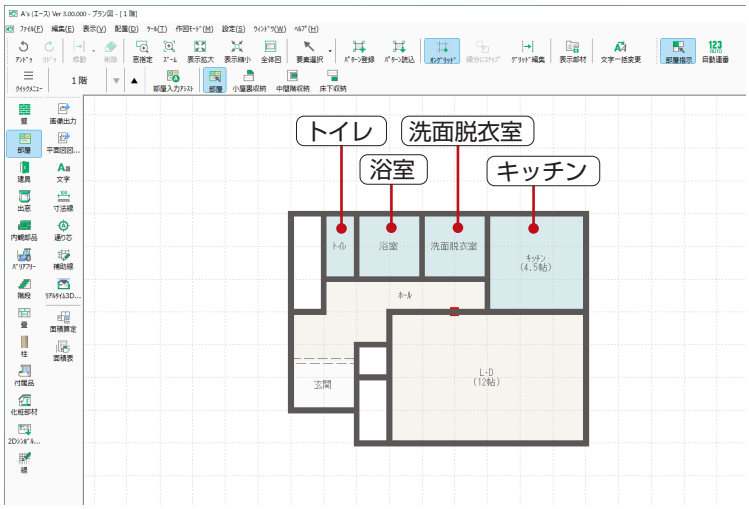
部屋名設定により、部屋と部屋の間の壁を自動認識して、框や下り壁などの部材を配置（変更）します。
ここでは、玄関とホールの間の壁が、自動的に框に変わります。

水廻り



①キッチンにする部屋の中をクリック
　＊部屋のダイアログが表示されます。
②「水廻り」をクリック
　＊水廻りの部屋名一覧が表示されます。
③「キッチン」をダブルクリック
　＊キッチンが設定されます。

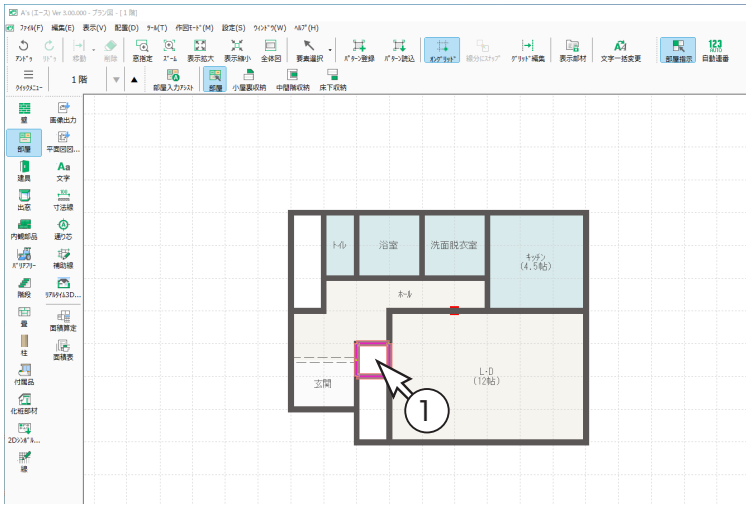


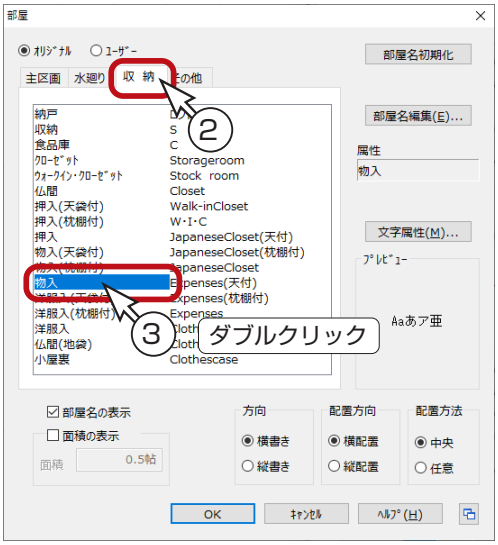


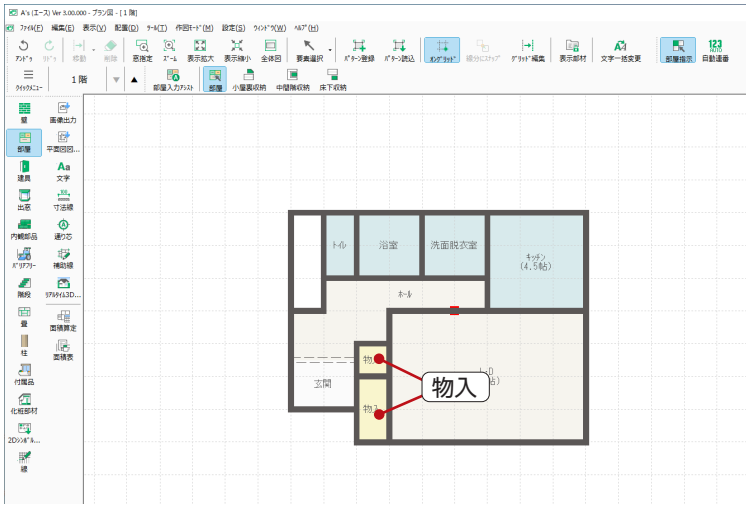
④続けて、他の水廻りの部屋を設定
　＊水廻りは他に、浴室、洗面脱衣室、トイレを設定します。

収納

①物入にする部屋の中をクリック
②部屋のダイアログが表示されるので、「収納」タブをクリック
③「物入」をダブルクリック



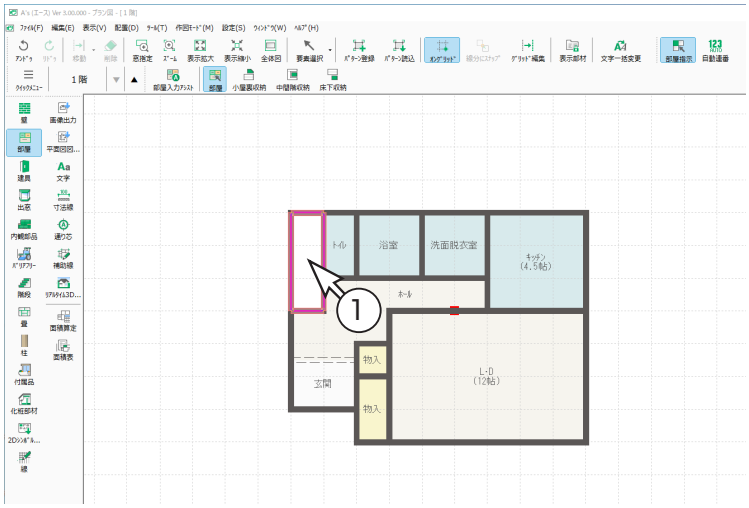


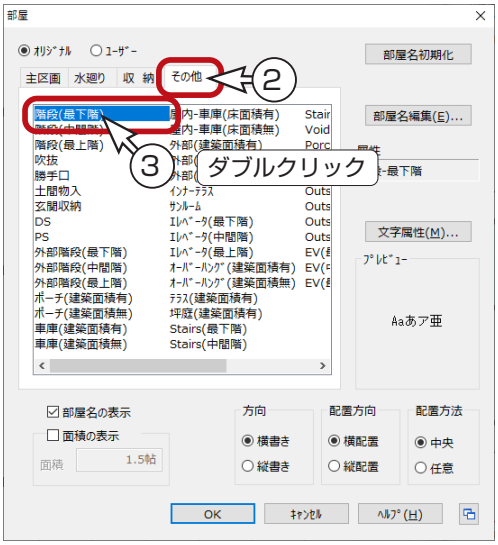


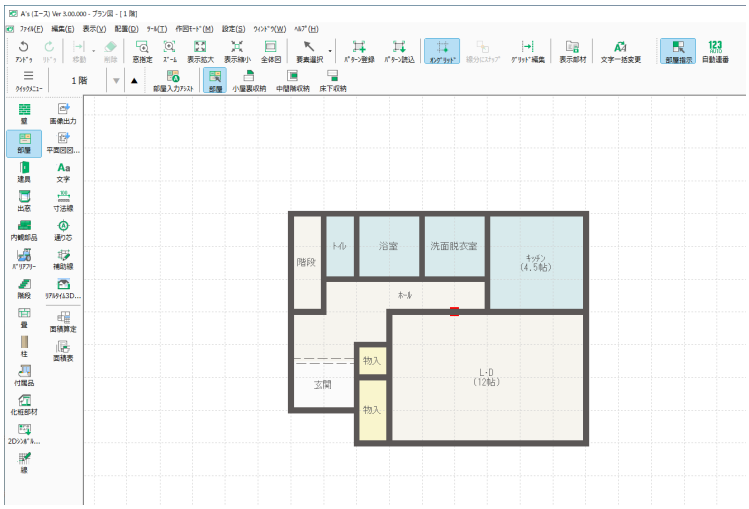
④続けて、もう一つの「物入」を設定

その他

①階段にする部屋の中をクリック
②部屋のダイアログが表示されるので、「その他」タブをクリック
③「階段 (最下階)」をダブルクリック







以上で、部屋名設定は完了です。

部屋名の ( )

部屋名に半角の「(」が付いている場合は、「(」以降は画面に表示されません。
例えば、「押入 (天付)」は「押入」、「階段 (最下階)」は「階段」と表示されます。

壁の調整

壁の移動や追加、種類変更は、部屋設定後でも自由にできます。

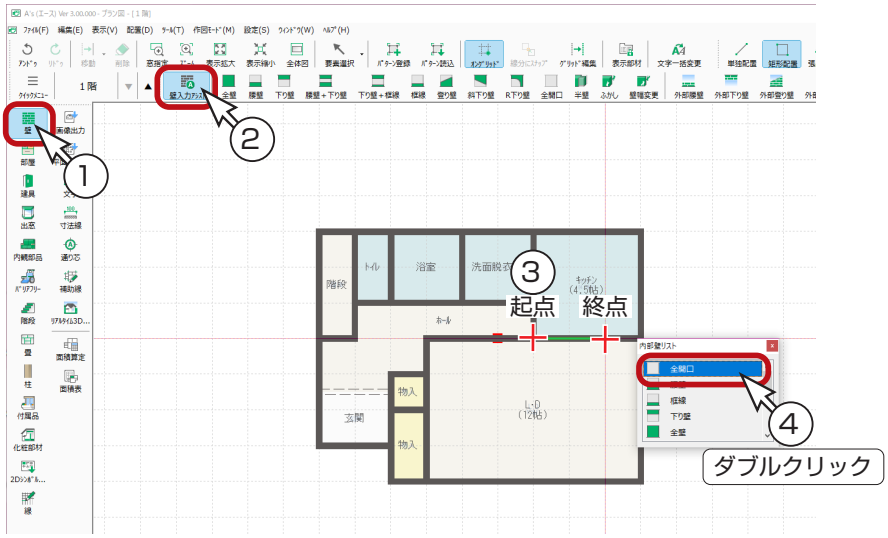
全開口

①ツールバーの (壁) をクリック

② (壁入力アシスト) を確認

③図のように、起点ー終点を指示
　＊入力候補リストが表示されます。

④「全開口」をダブルクリック



壁上への上書き入力

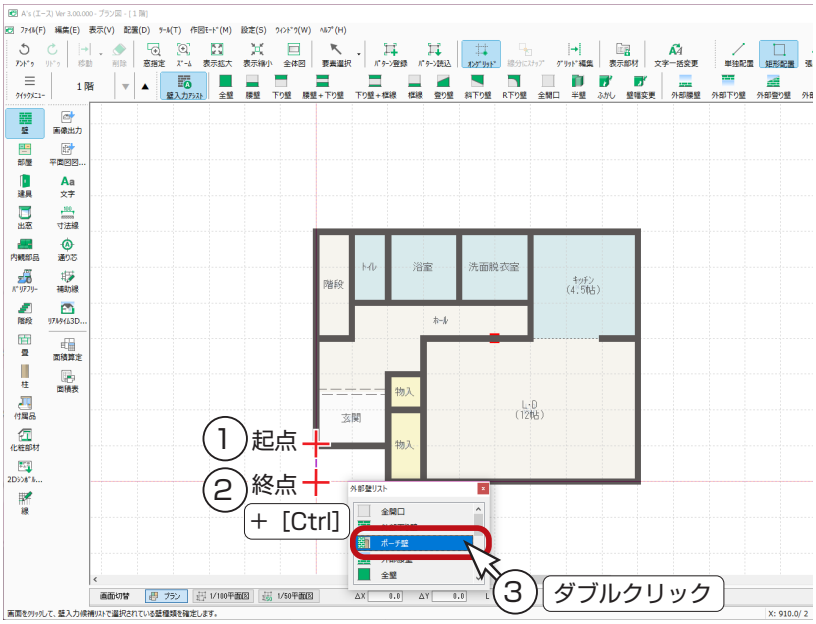
壁入力アシストで壁上へ上書き入力すると、入力候補リストが表示されます。

ポーチ壁

①図のように、起点をクリック

②終点は、[Ctrl] キーを押しながらクリック
　＊入力候補リストが表示されます。

③「ポーチ壁」をダブルクリック

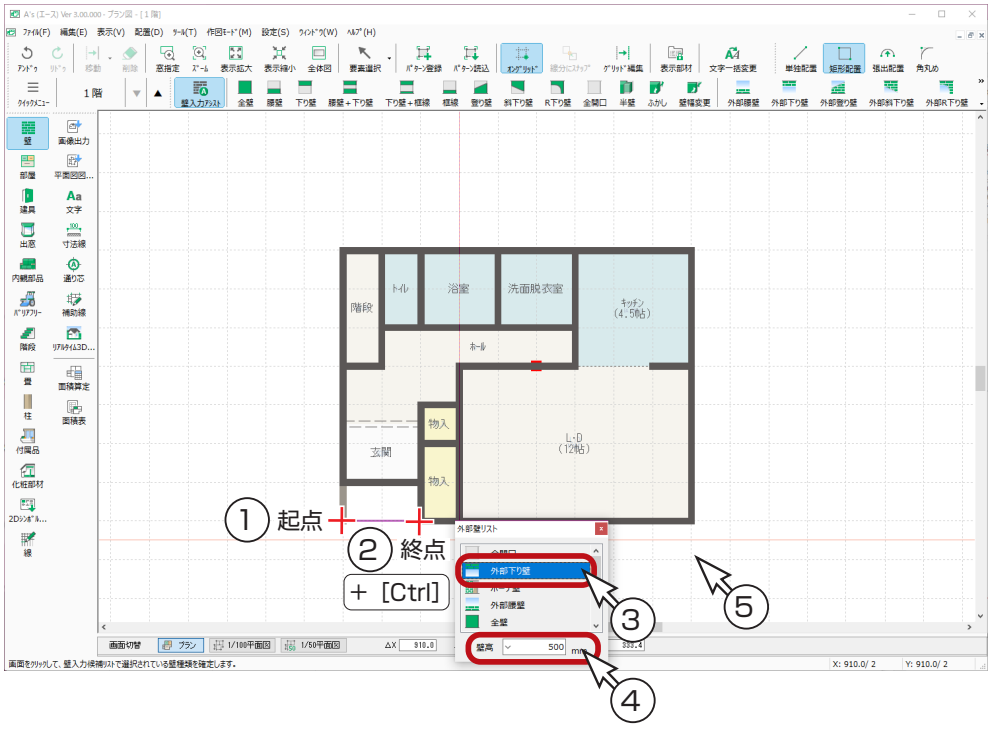


壁の無いところへの入力

壁入力アシストで壁の無いところへ直線で入力する場合、[Ctrl] キーを押しながら終点を指示すると、入力候補リストが表示されます。

外部下り壁

①図のように、起点をクリック
②終点は、[Ctrl] キーを押しながらクリック
　＊入力候補リストが表示されます。
③「外部下り壁」を選択
④下り寸法を確認
　＊ここでは、500mm を使用します。
⑤画面内でクリック
　＊「外部下り壁」をダブルクリックしてもかまいません。



建具

建具を配置しましょう。

ツールバーの （建具）をクリックすると、建具入力関連のアイコンが表示されます。

建具アイコンカスタマイズ

（建具種類）をクリックすると、 （引違）、 （片引）など、建具種類を選択して配置することができます。
建具種類は多いので、「設定」⇒「建具設定」⇒「建具アイコンカスタマイズ」にて、各建具アイコンの表示 / 非表示を設定できるようになっています。

建具自動配置

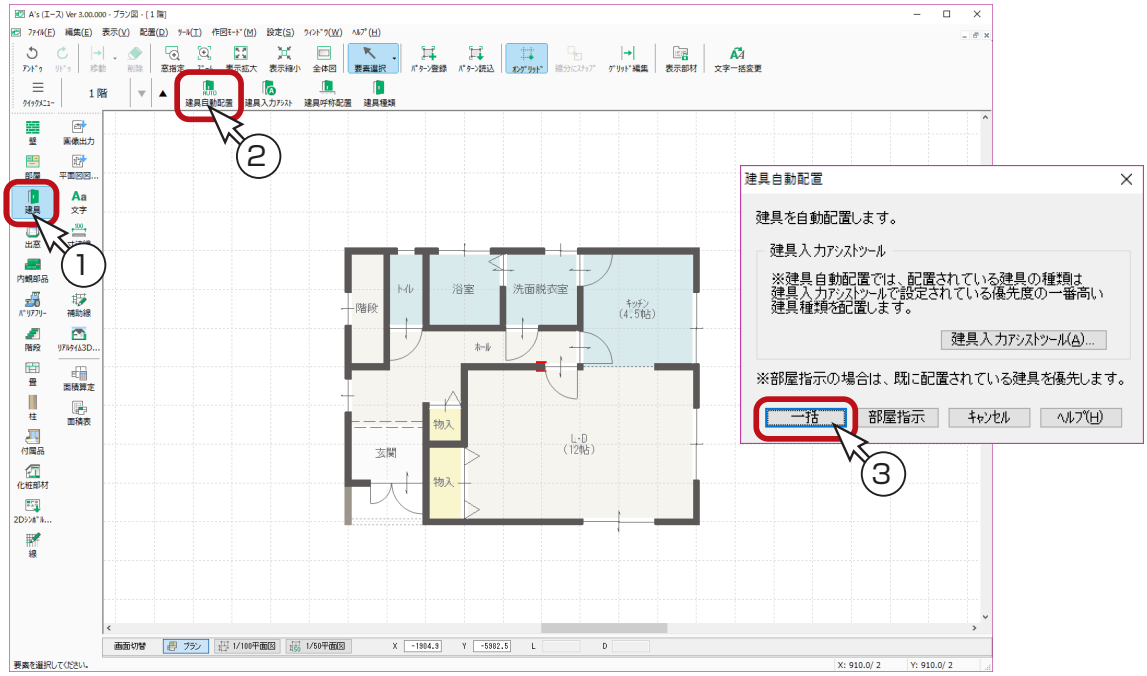
ここでは、自動配置を実行し、配置状態を確認してから調整しましょう。

①ツールバーの （建具）をクリック

②

（建具自動配置）をクリック

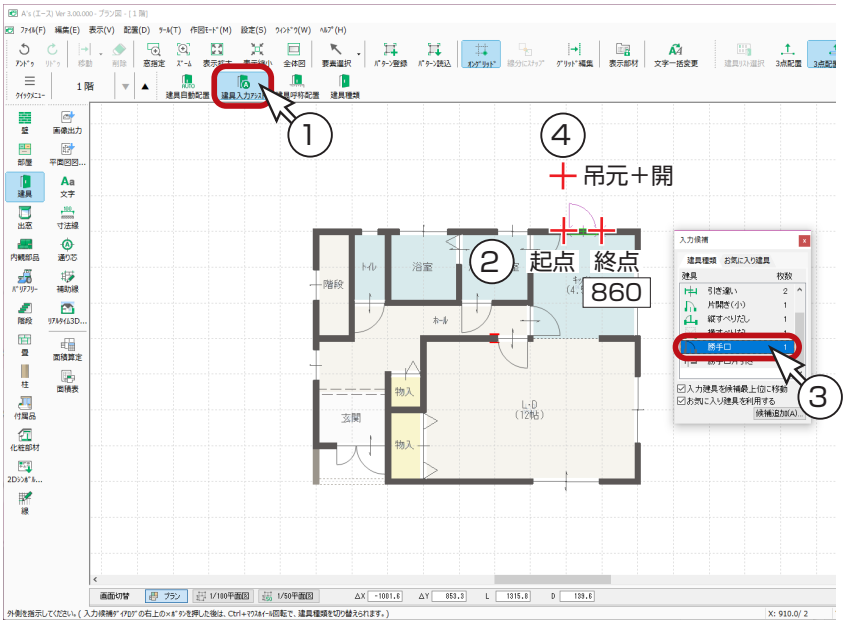
③ダイアログが表示されるので、「一括」をクリック
＊建具自動配置が実行されます。



建具の追加

建具を追加してみましょう。

① （建具入力アシスト）をクリック
②図のように、起点ー終点をクリック
＊終点は入力幅「860」となる位置でクリックします。
なお、外部建具は内法幅も表示されます。
＊入力候補が表示されます。
③「勝手口」を選択
④吊元側＋開き方向でクリック



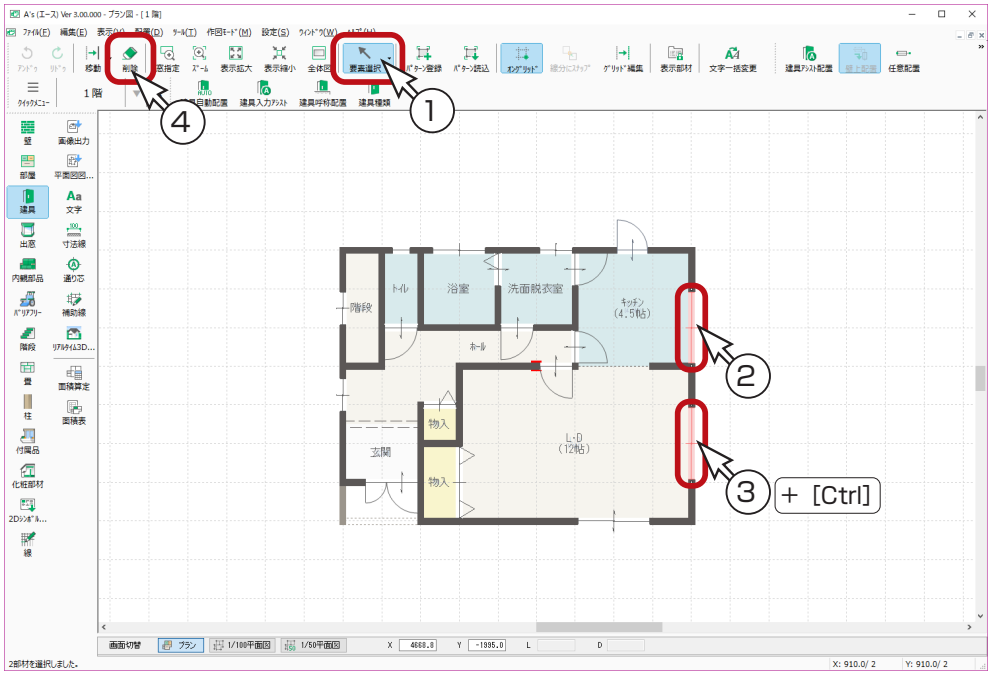
建具の削除

不要な建具は削除しましょう。

① （要素選択）をクリック
②図のように、キッチンの建具を指示
③ [Ctrl] キーを押しながら、L･D の建具を指示
④2つが選択状態になったら、 （削除）をクリック
＊ [Del] キーを押してもかまいません。

[Ctrl] キーで複数選択

1つの要素を選択後、[Ctrl] キーを押しながら別の要素を選択すると、複数の要素を同時に編集対象にすることができます。
なお、選択済みの要素を [Ctrl] キーを押しながら指示すると、選択解除となります。



出窓

出窓を配置してみましょう。

①ツールバーの (出窓) をクリック

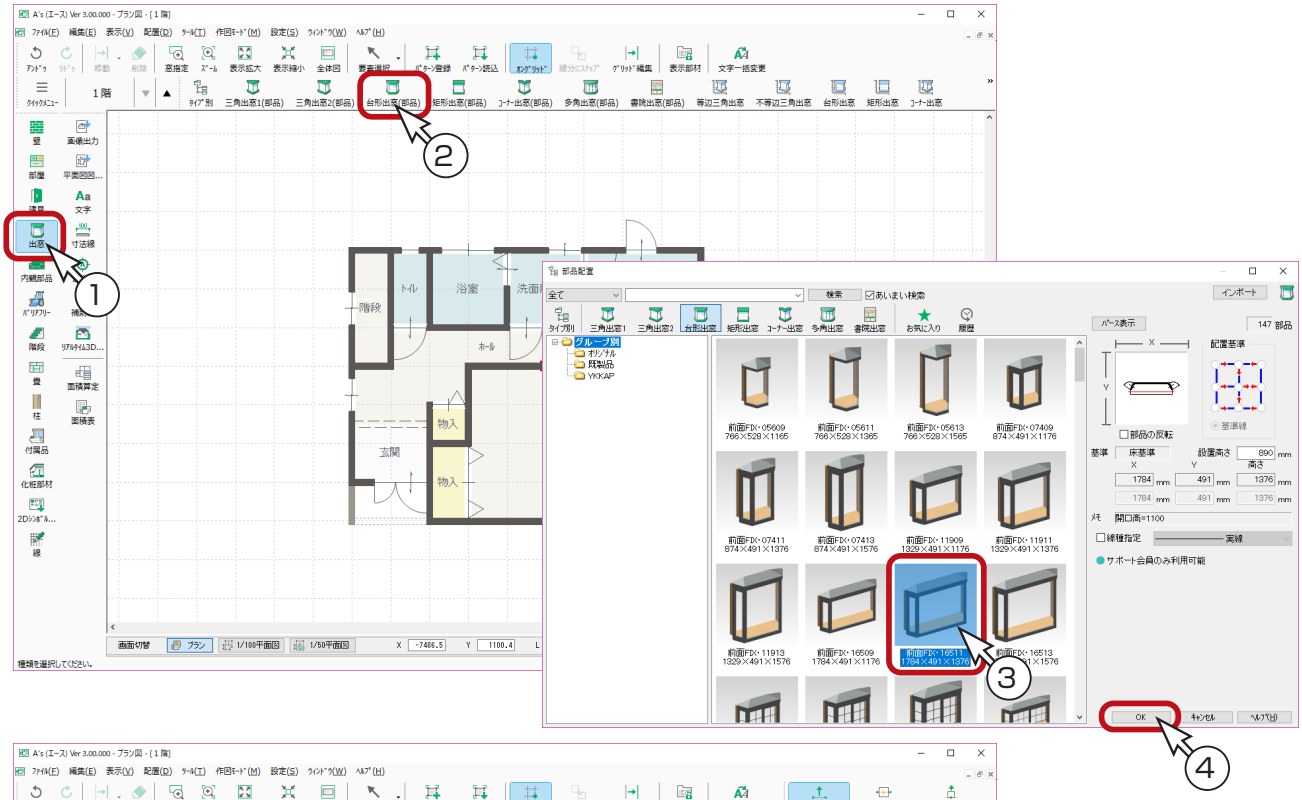
② (台形出窓 (部品)) をクリック

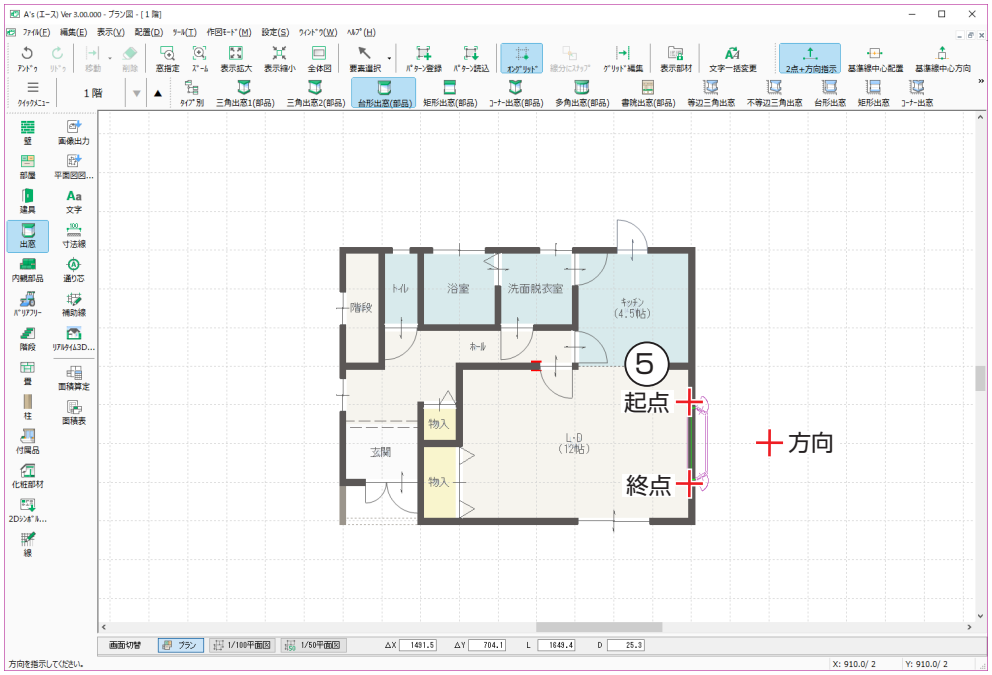
＊ダイアログが表示されます。

③「前面 FIX･16511」を選択

④「OK」をクリック

⑤図のように、起点ー終点ー方向を指示





内観部品

玄関キャビネットと設備部品を自動配置してみましょう。

① （内観部品）をクリック

②

（部品自動配置）をクリック

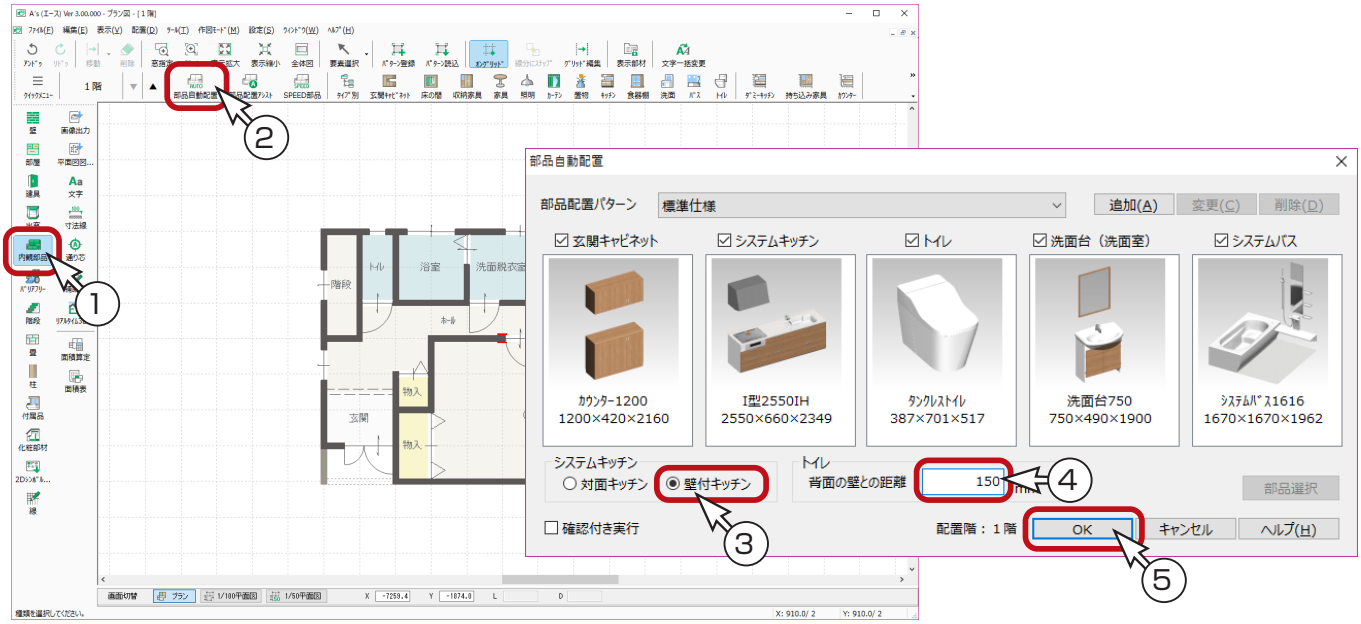
＊部品自動配置のダイアログが表示されます。

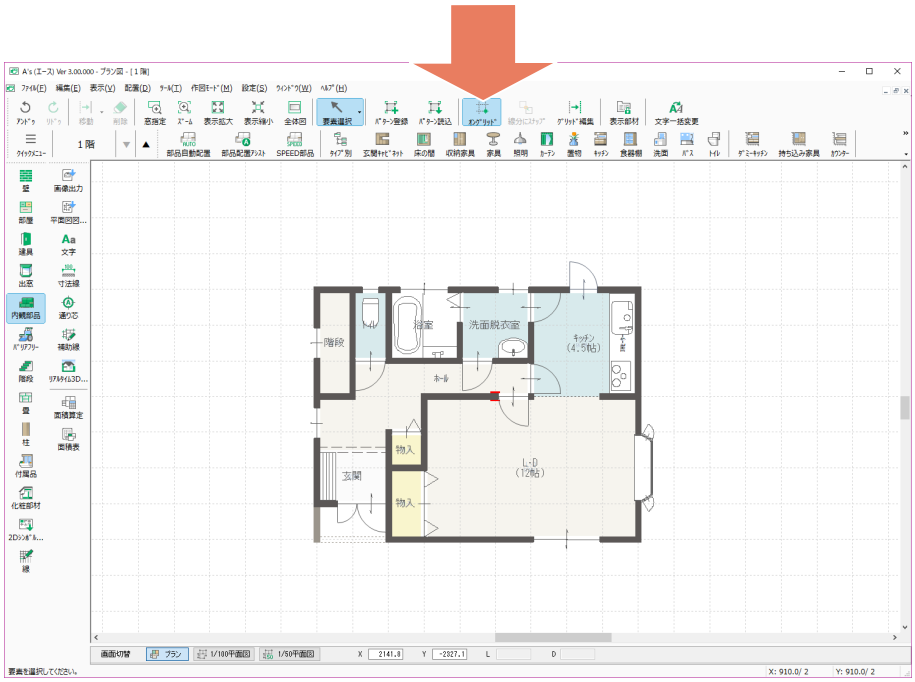
③システムキッチンを「壁付キッチン」に設定

④トイレ背面の壁との距離を 150 mmに設定

⑤「OK」をクリック

＊チェックの入っている部品が自動配置されます。



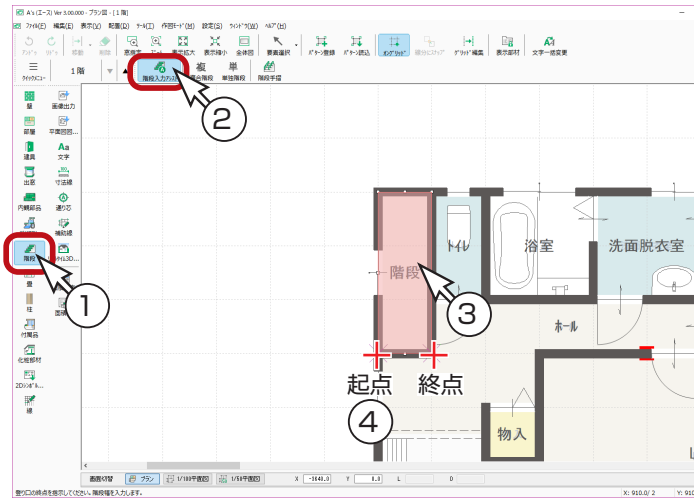


部品自動配置のダイアログで、サムネイルをダブルクリックすると、部品を変更することができます。

階段

それでは、階段を配置してみましょう。ここでは、 （階段入力アシスト）を使用します。

実際に階段を登るイメージで入力することができます。



① （階段）をクリック

② （階段入力アシスト）を確認

③階段の部屋の中をクリック

④登り口を起点ー終点で指示

＊ダイアログが表示されます。

⑤トイレも表示するように、ダイアログを移動

＊タイトルバーをドラッグして、少し右に移動してください。

⑥登り口から直階段の８段目の位置をクリック

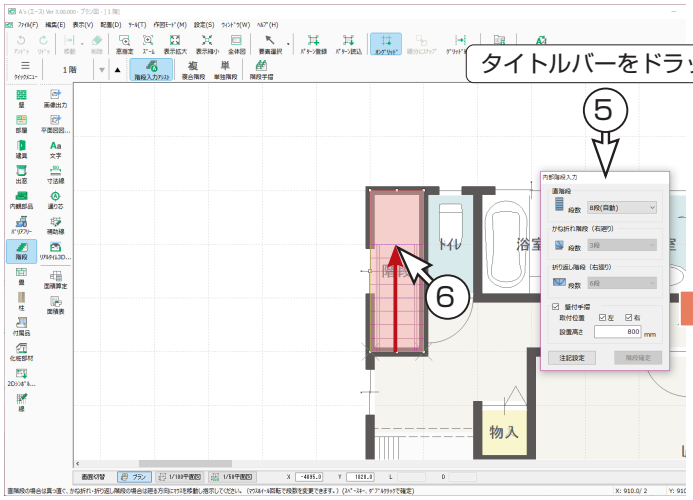
⑦かね折れ階段の段数を２段に設定

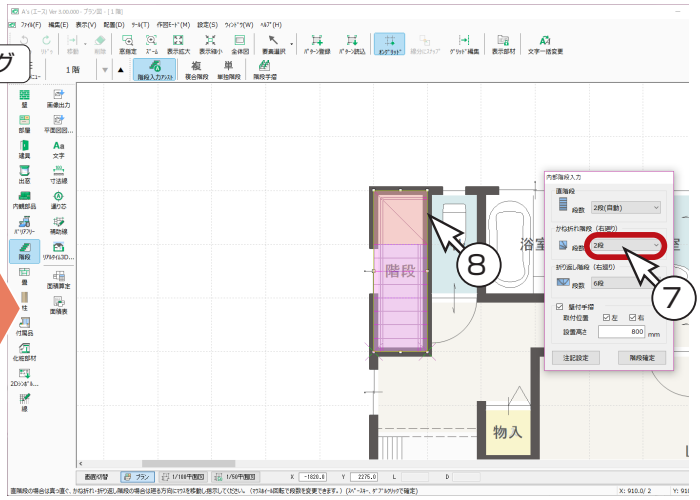
⑧図の位置をクリック

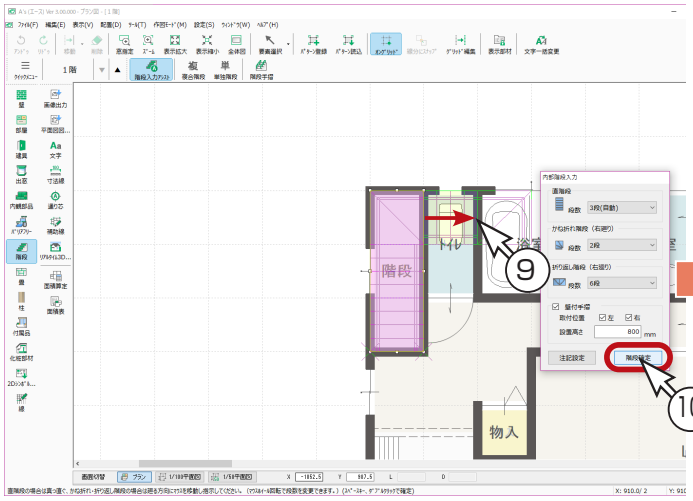
⑨さらに、直階段を４段登ってクリック

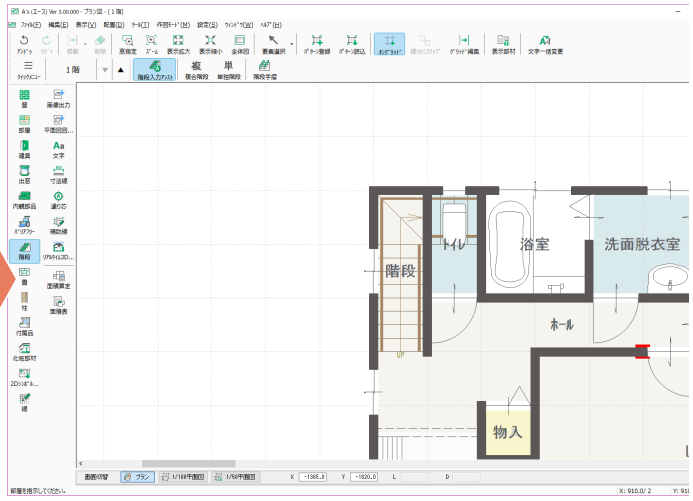
⑩「階段確定」をクリック

＊階段が配置されます。





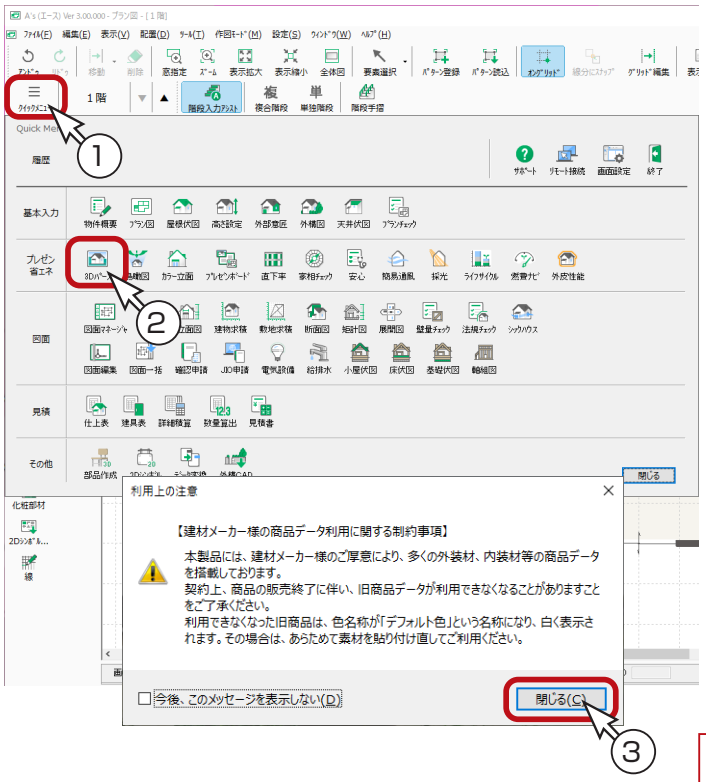




トイレ側の表示は、他の処理に進むと、自動修正されます。

リアルタイム連動

本システムの２次元と３次元のアプリケーションはリアルタイム連動しており、３次元で確認しながら２次元を入力したり、３次元上で編集して２次元に反映させたりすることも可能です。
付属品入力の前に、「3D パース」も起動してみましょう。



① （クイックメニュー）をクリック

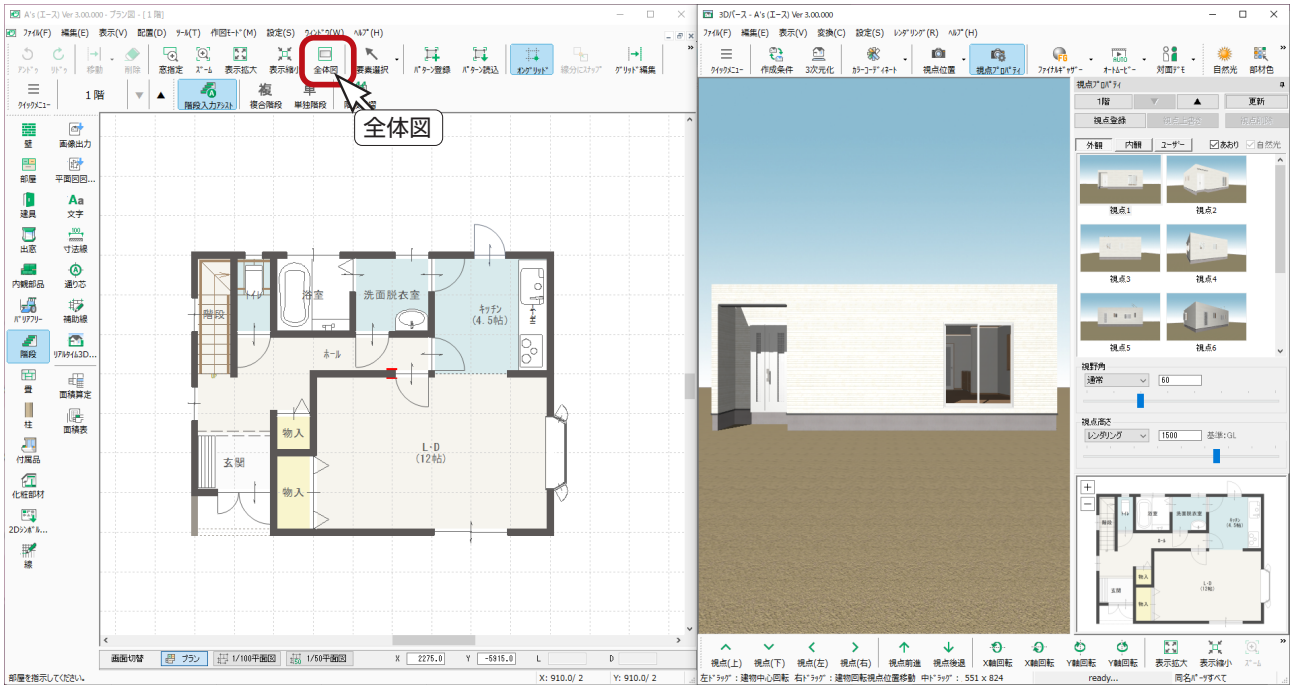
② （3D パース）をクリック

③利用上の注意が表示されるので、内容を確認の上、「閉じる」をクリック

＊「今後、このメッセージを表示しない」のチェックが可能です。

＊ 3D パースの画面が表示されます。

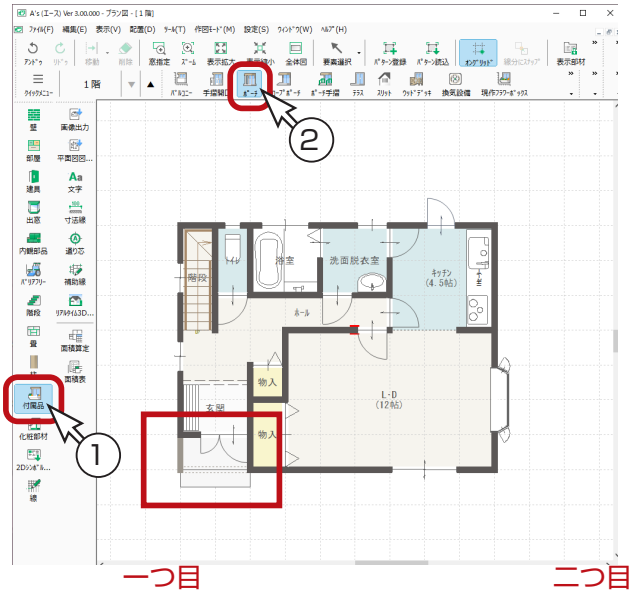
デスクトップに２つのアプリケーションが並ぶようにそれぞれの画面サイズを調整してください。
以下の表示では、３D パースも表示調整しています。
プラン図は、全体図の表示にします。

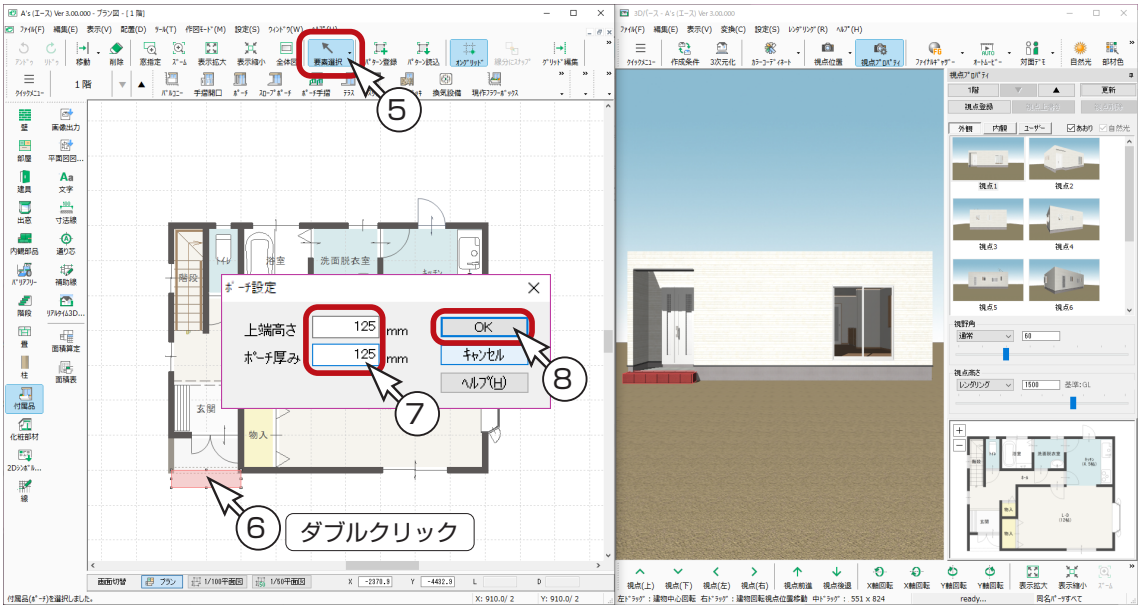


付属品

（付属品）では、ポーチ、テラス、バルコニー、ウッドデッキなど、3D パースにも関連した部品を配置することができます。

ポーチ





（付属品）をクリック

（ポーチ）をクリック

③図のように、一つ目の起点ー終点を指示

④二つ目の起点ー終点を指示

＊階段状にするために、分けて入力します。

（要素選択）をクリック

⑥二つ目をダブルクリック

⑦上端高さ、ポーチ厚みともに「125」mm に変更

⑧「OK」をクリック

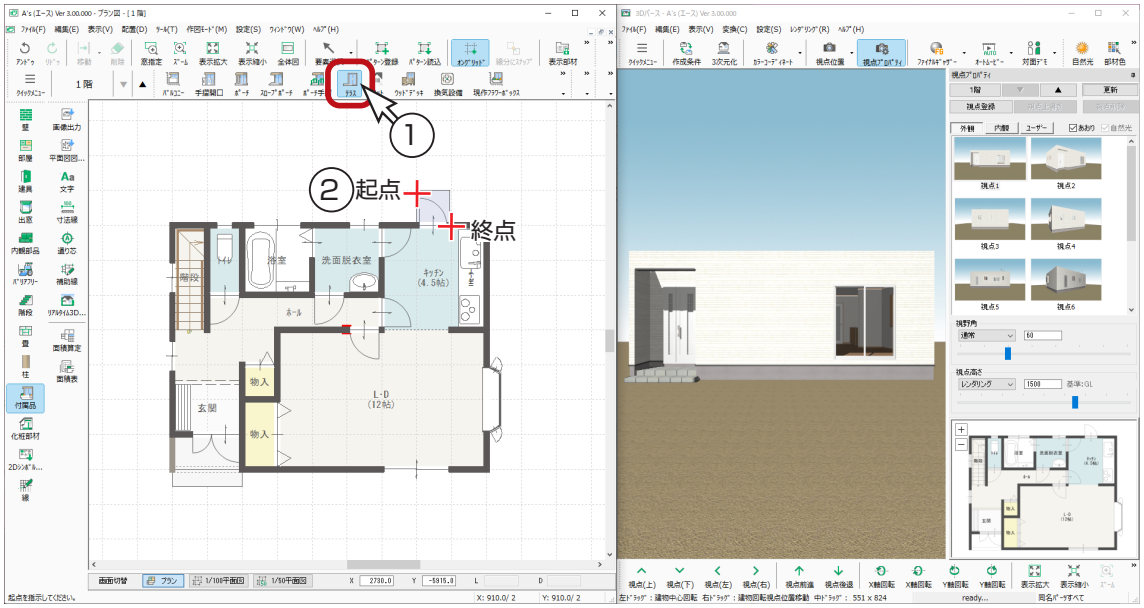
＊ポーチが階段状になります。

＊ 3D パースで確認できます。

テラス

① （テラス）をクリック

②勝手口に、起点ー終点を指示



換気扇

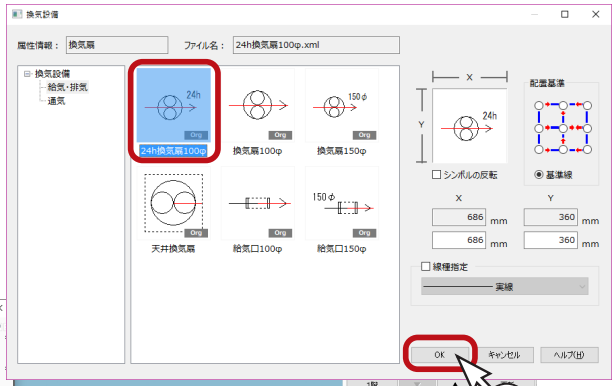
① （換気設備）をクリック

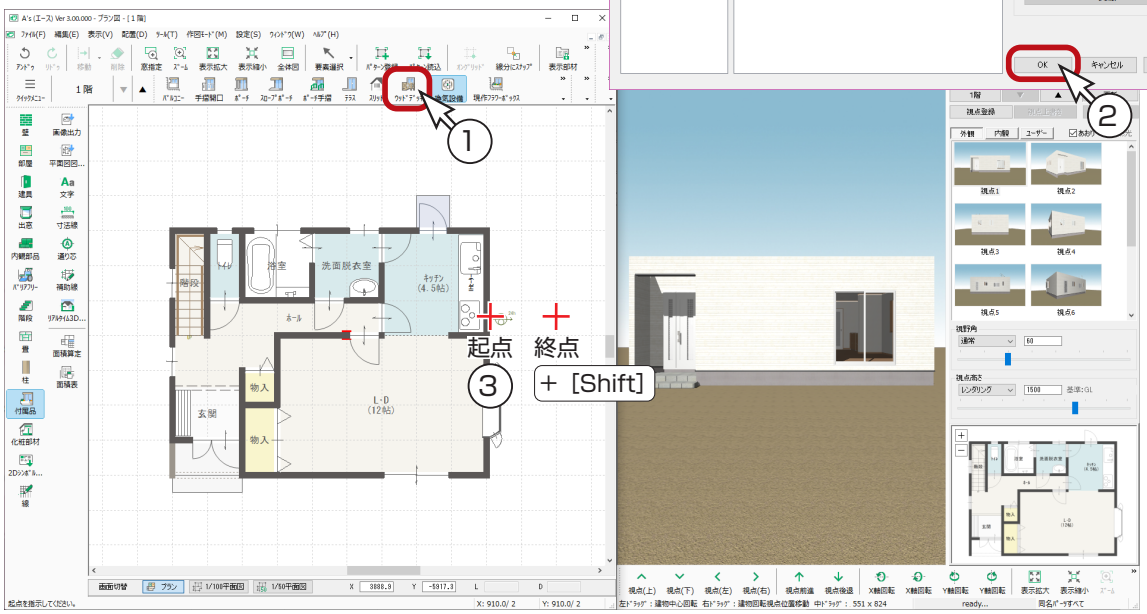
＊ダイアログが表示されます。

②「24h 換気扇 100 φ」を選択し、「OK」をクリック

③図のように、起点ー終点を指示

＊水平に配置するには、[Shift] キーを押しながら終点を指示します。





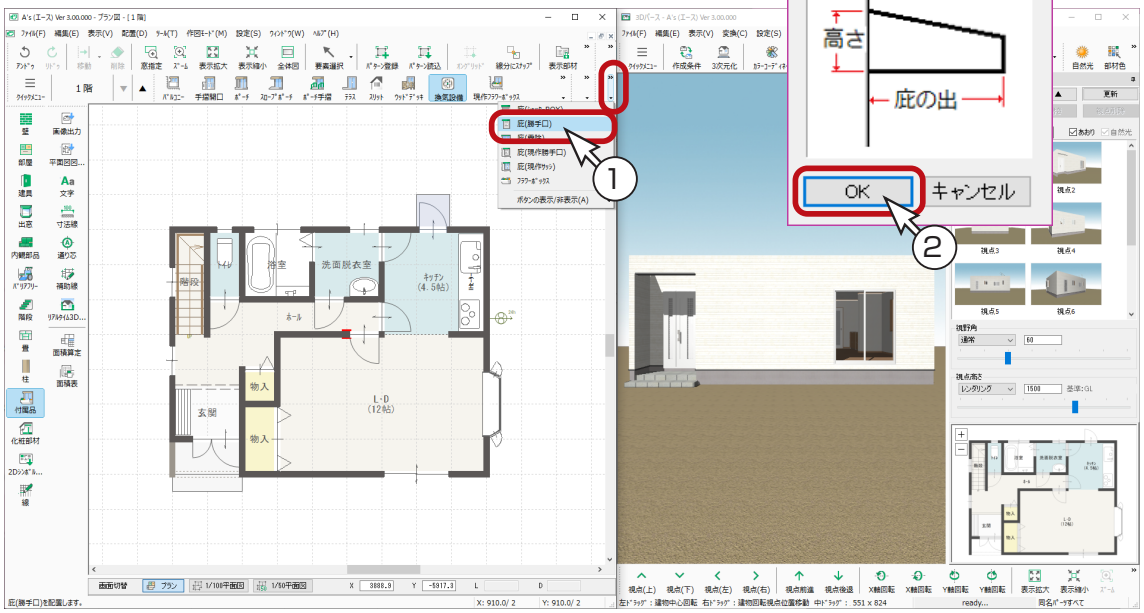
庇

① （庇（勝手口））をクリック

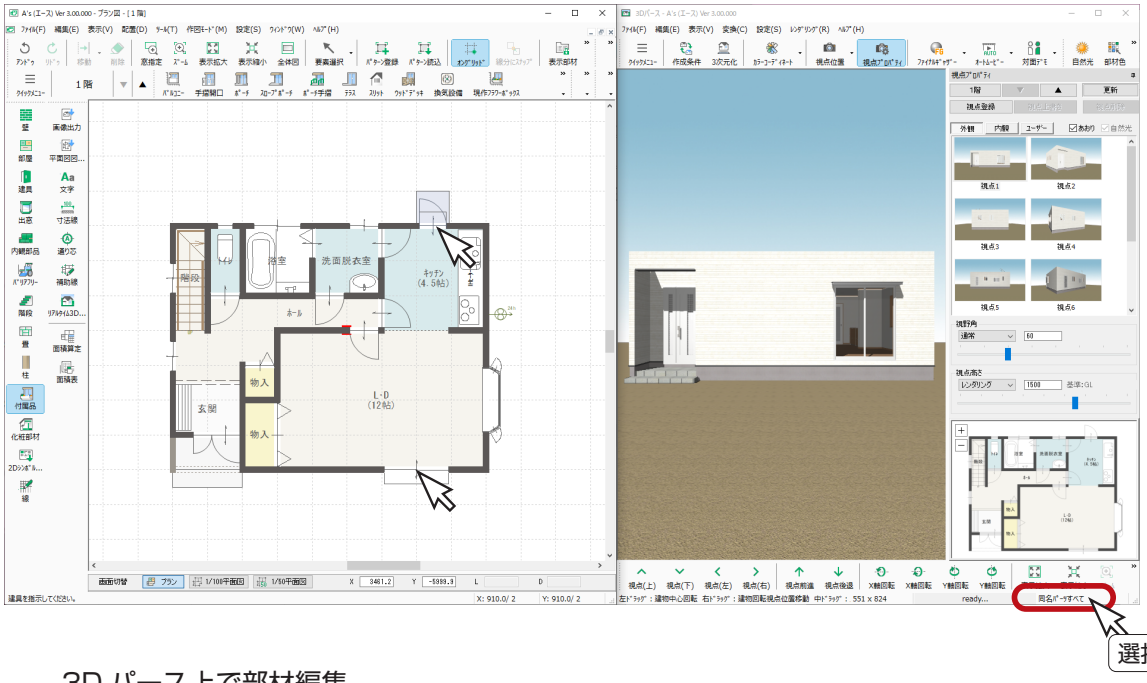
＊アイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

＊ダイアログが表示されます。

②高さ、庇の出を確認し、「OK」をクリック



③図の２つの建具をクリック



3D パース上で部材編集

3D パース上で部材をダブルクリックすることで、各種設定を変更することができます。
画面右下の選択モードをクリックして「パーツ」または「同名パーツ」にすることにより、右クリックメニューの「プロパティ」から各種設定を変更することも可能です。
例えば、庇をダブルクリック、または選択後右クリックし、「プロパティ」⇒「設定」を選択すると、高さや庇の出を変更することができます。

寸法線

寸法線を入力してみましょう。

①ツールバーの （寸法線）をクリック

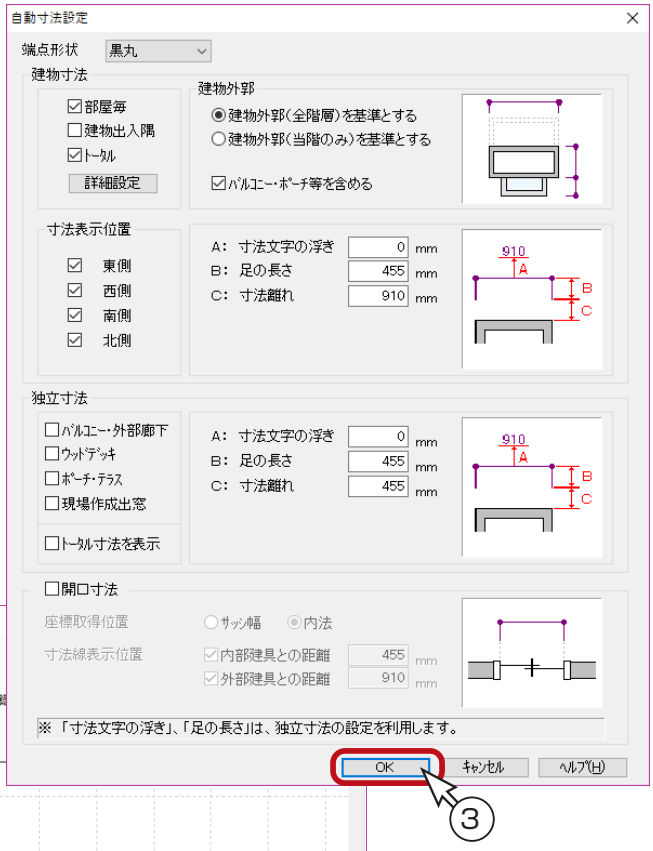
＊ショートカットキーは［D］です。
（日本語入力 OFF で有効）

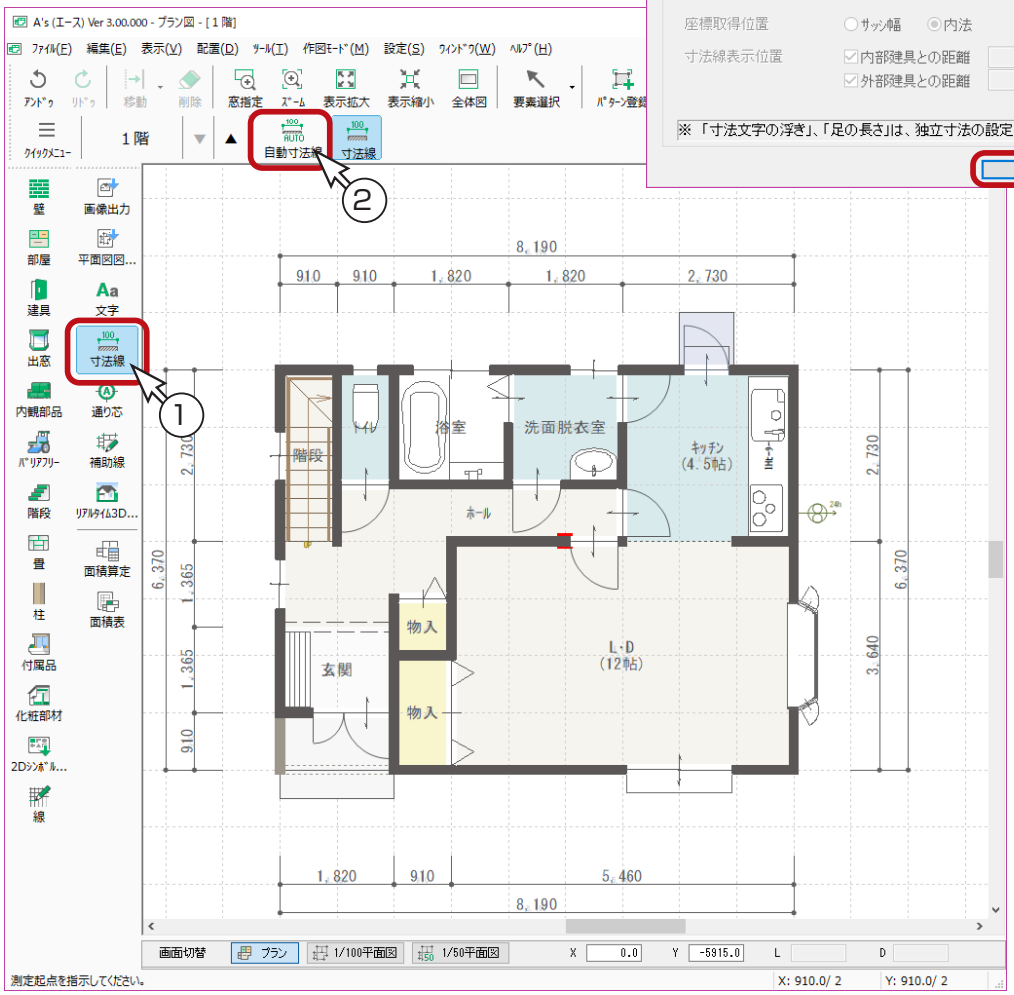
② （自動寸法線）をクリック

＊自動寸法設定のダイアログが表示されます。

③初期設定の状態で、「OK」をクリック

＊寸法線が自動入力されます。





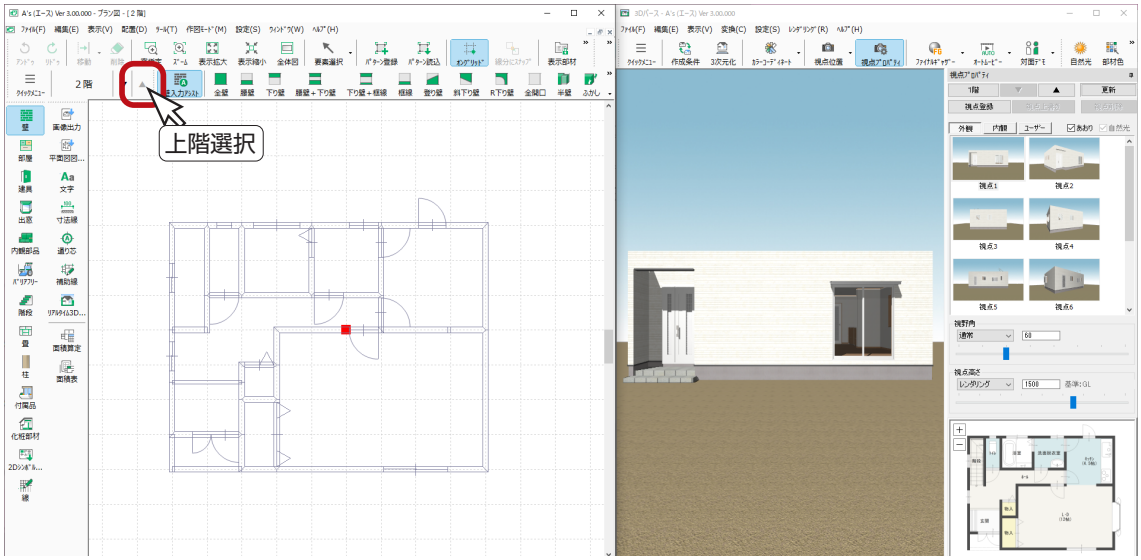
２階プラン

階層変更

１階間取り図が完成したら、次に２階間取り図を作成してみましょう。

階層ボタンの (上階選択) をクリックしてください。ショートカットキーは［+］です。(日本語入力 OFF で有効)

２階プランのウィンドウが開き、１階プランが下図に表示されます。



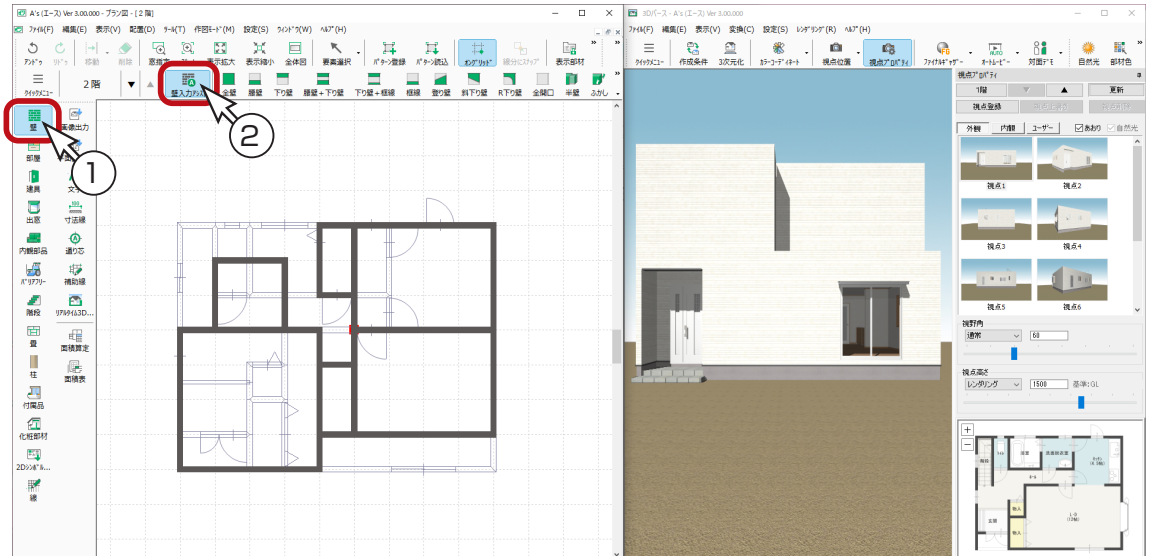
壁

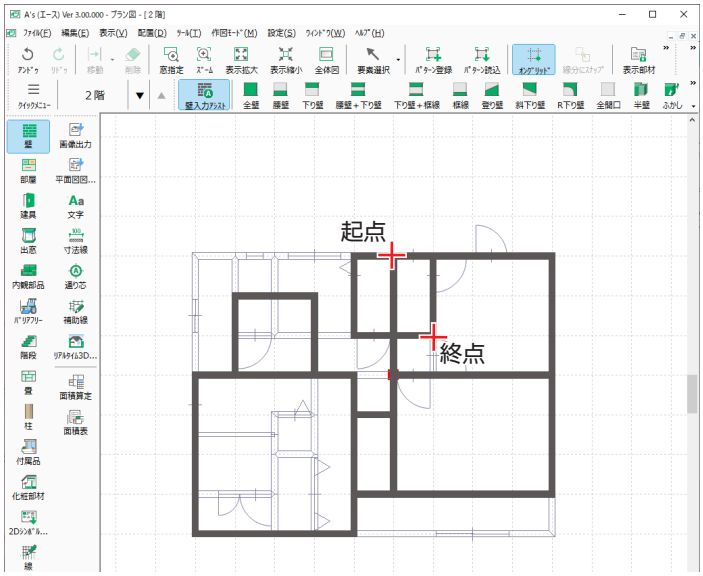
①ツールバーの (壁) をクリック

＊ショートカットキーは［W］です。(日本語入力 OFF で有効)

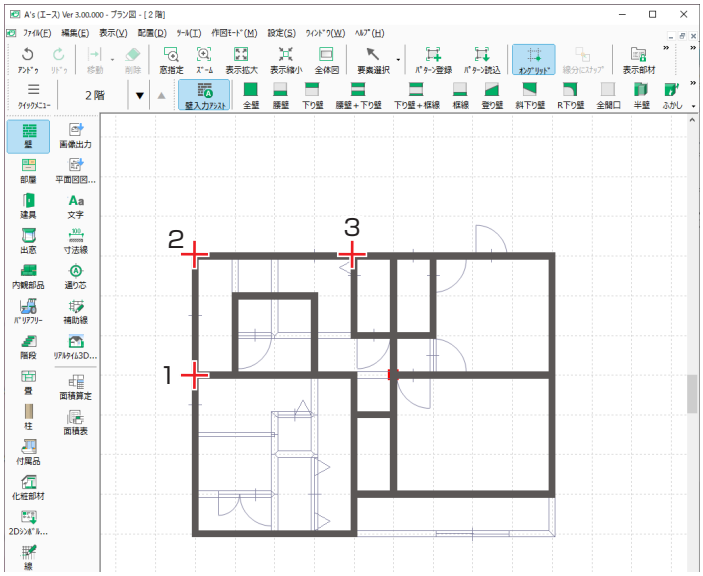
② (壁入力アシスト) にて、【全壁】を (矩形配置) で入力

＊下図に重ねるように入力します。

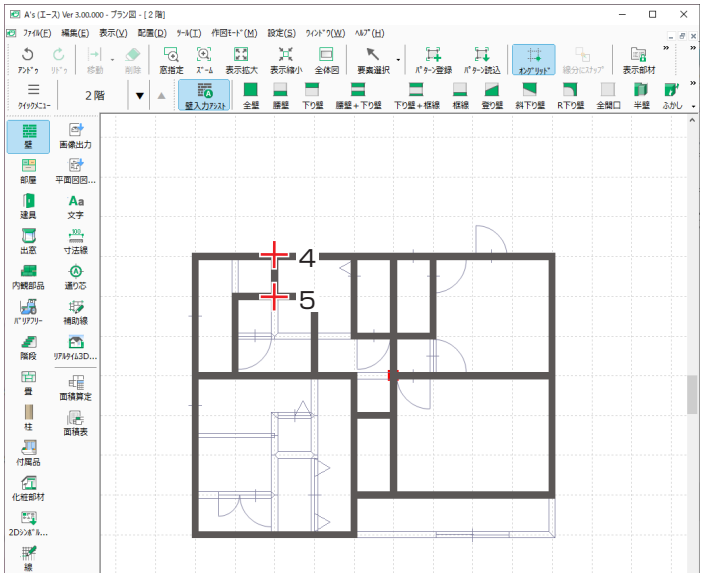




③続けて、図のように、起点ー終点を指示



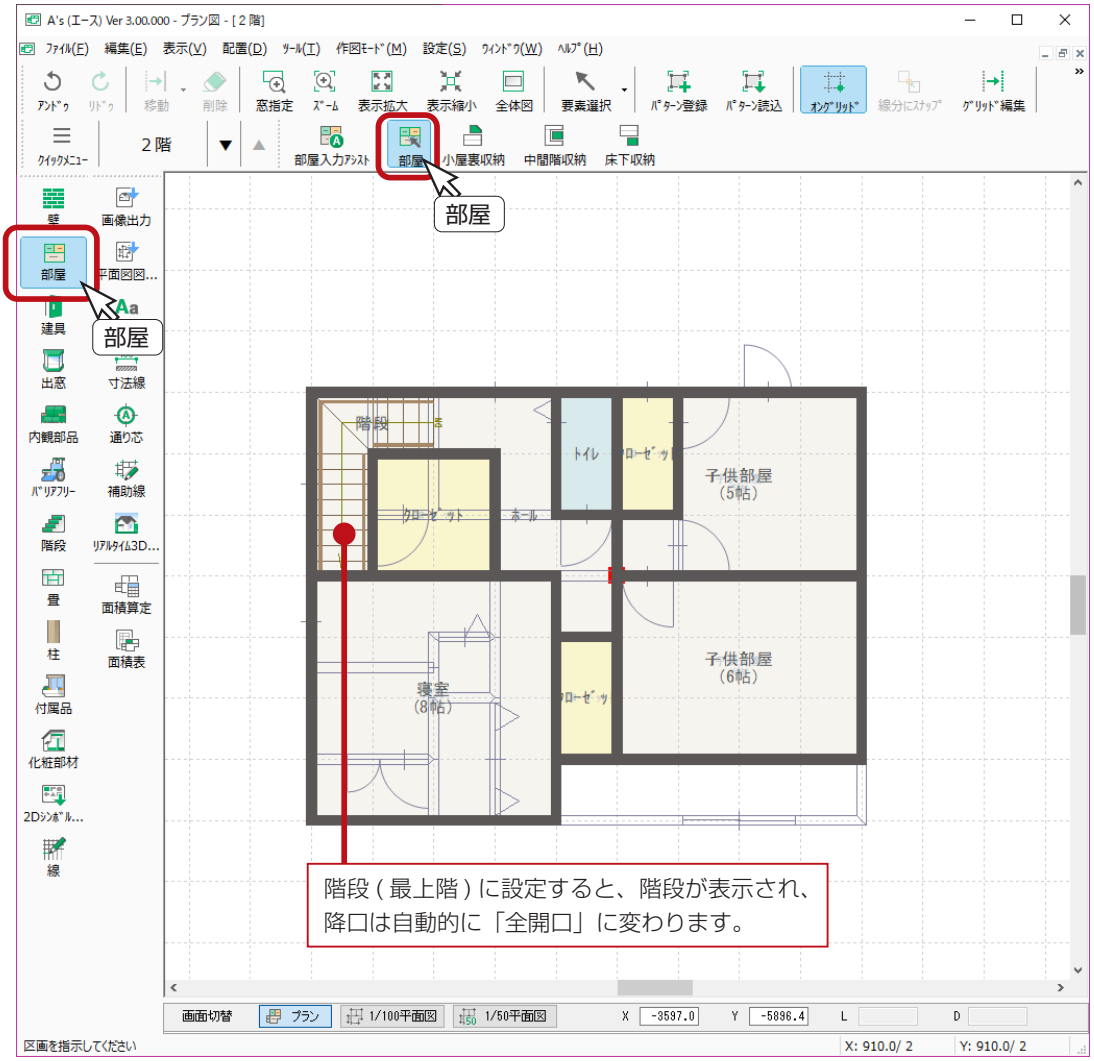
④続けて、図のように、１～３を指示
⑤右クリック



⑥続けて、図のように、４、５を指示
⑦右クリック

部屋

（部屋）⇒ （部屋）にて、部屋の中をクリックするとダイアログが表示されますので、目的の部屋名を選択して設定します。タブを切り替えて、下図のように設定します。



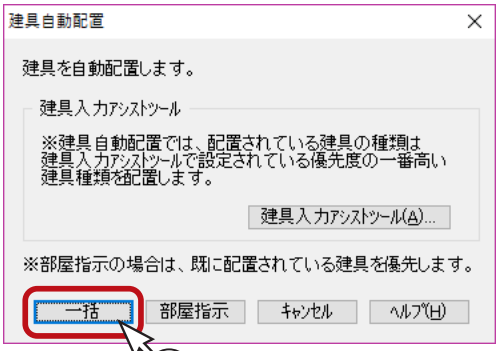
【主区画】・・・・・・・・・「ホール」、「寝室」、「子供部屋」２ヶ所
【水まわり】・・・・・・・「トイレ」
【収納】・・・・・・・・・・・「クローゼット」３ヶ所
【その他】・・・・・・・・・「階段（最上階）」

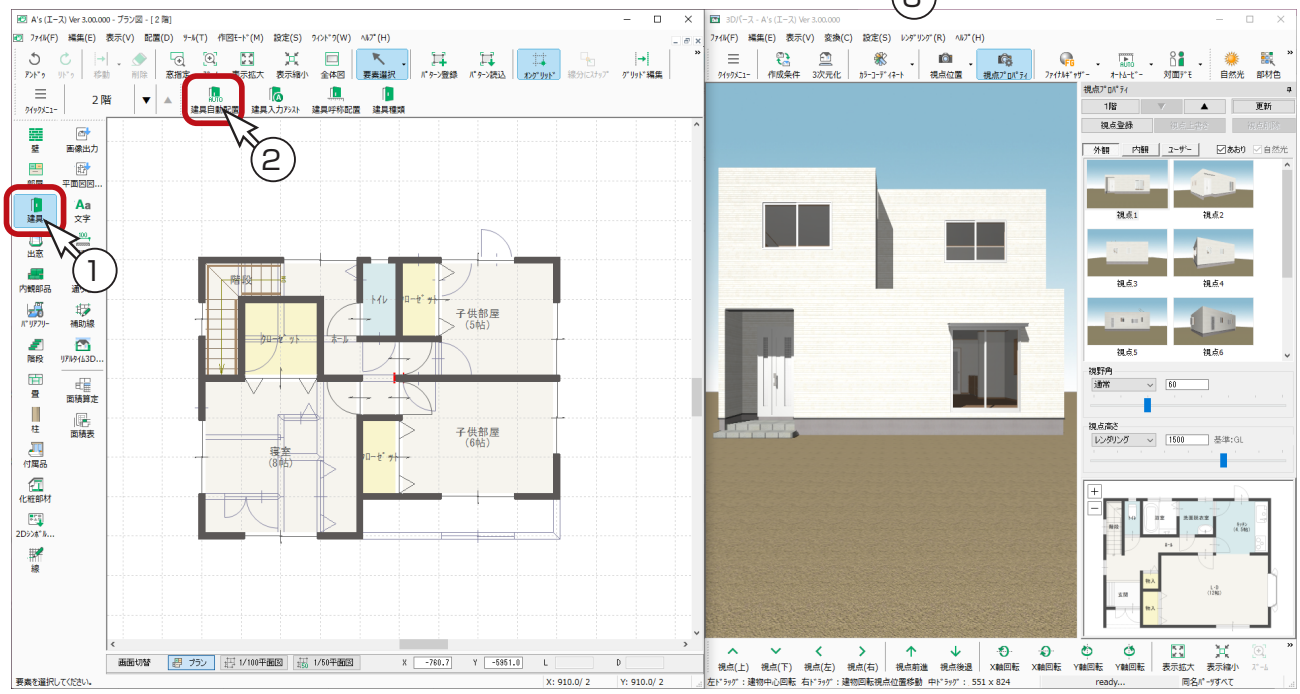
建具

①ツールバーの （建具）をクリック

② （建具自動配置）をクリック

③ダイアログが表示されるので、「一括」をクリック
＊建具自動配置が実行されます。





内観部品

2 階は、トイレの部品だけ自動配置してみましょう。

① （内観部品）をクリック

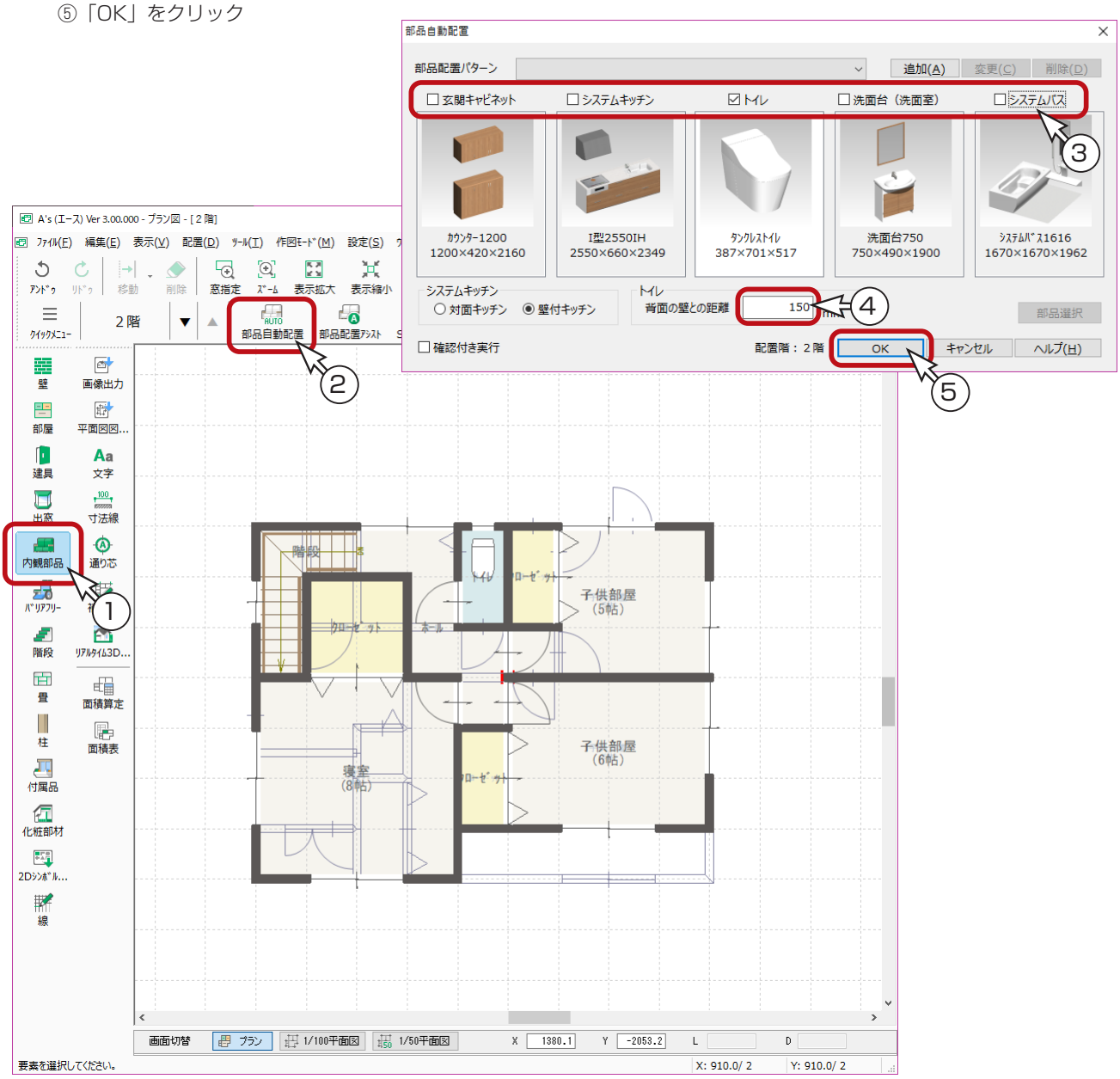
② （部品自動配置）をクリック

＊部品自動配置のダイアログが表示されます。

③トイレ以外のチェックを外す

④トイレ背面の壁との距離を 150 mmに設定

⑤「OK」をクリック



バルコニー

バルコニー配置箇所の一辺に、袖壁を入力しましょう。

①ツールバーの (壁) をクリック

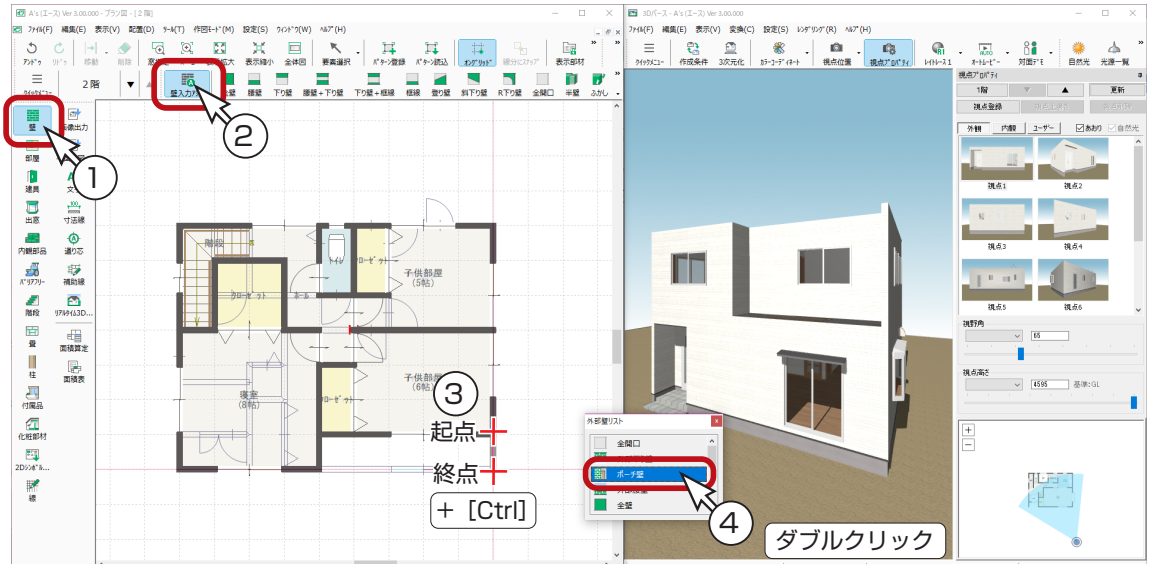
② (壁入力アシスト) を確認

③図のように、起点ー終点をクリック

＊終点は、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。

④壁のリストが表示されるので、「ポーチ壁」をダブルクリック

ポーチ壁は、外部全壁として利用できます。



バルコニーを配置しましょう。

①ツールバーの (付属品) をクリック

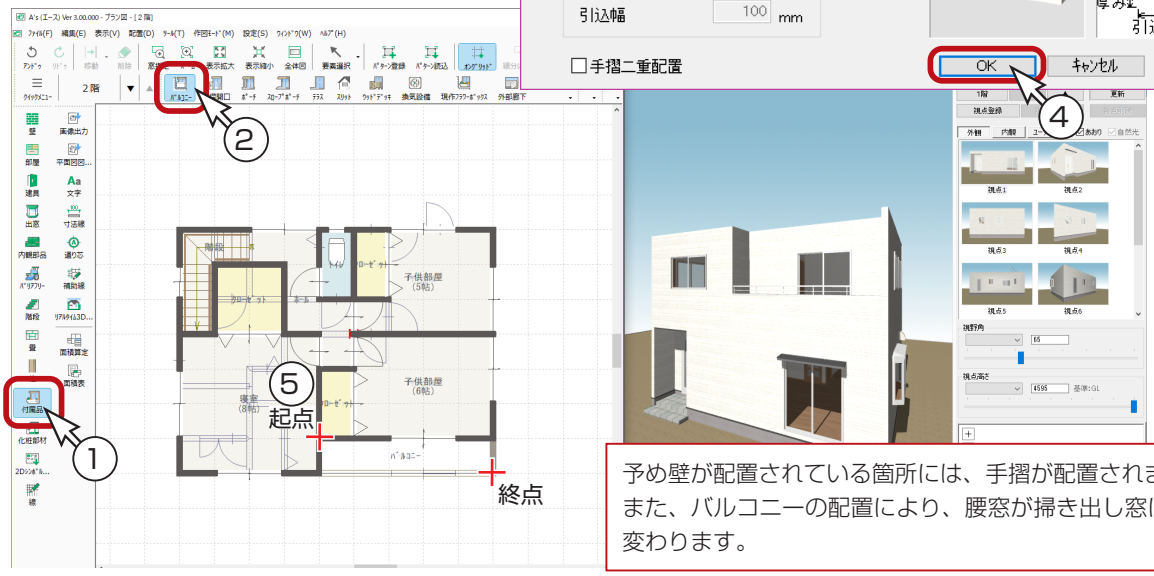
② (バルコニー) をクリック

＊ダイアログが表示されます。

③手摺種類を「ハンドレール (2 段)」に設定

④「OK」をクリック

⑤図のように、起点ー終点を指示



予め壁が配置されている箇所には、手摺が配置されません。
また、バルコニーの配置により、腰窓が掃き出し窓に自動的に変わります。

寸法線

①ツールバー

（寸法線）をクリック

②

（自動寸法線）をクリック

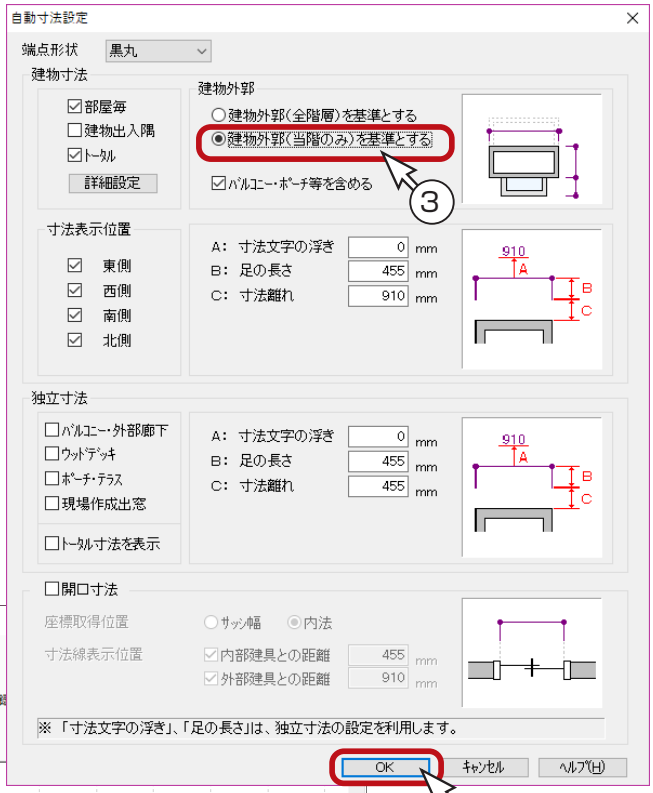
＊自動寸法設定のダイアログが表示されます。

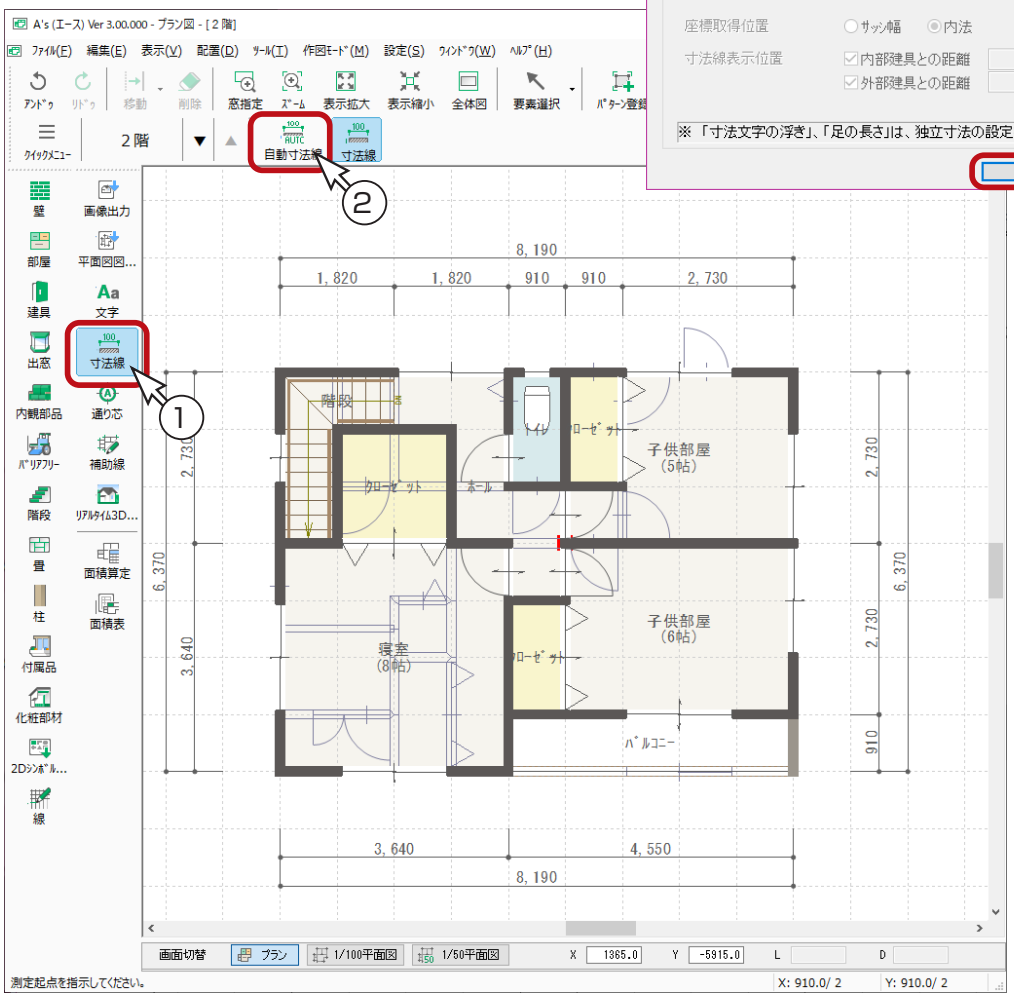
③「建物外郭（当階のみ）を基準とする」に設定

＊下屋部分を考慮しない設定にします。

④「OK」をクリック

＊寸法線が自動入力されます。





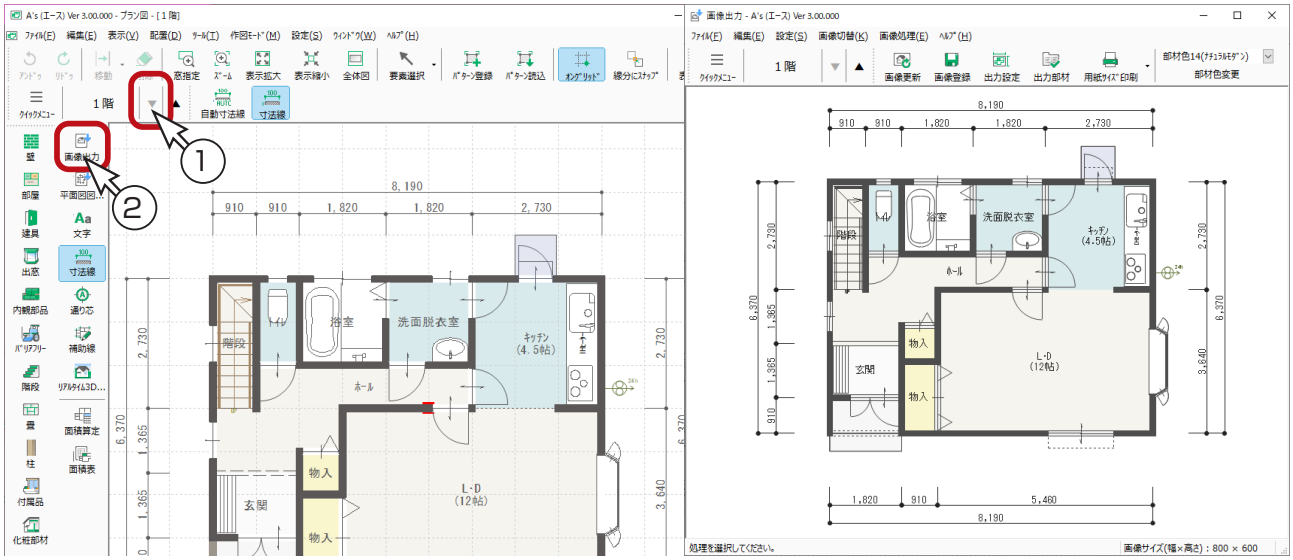
画像出力

１階の画像出力

① （下階選択）をクリックし、１階のプラン図を表示

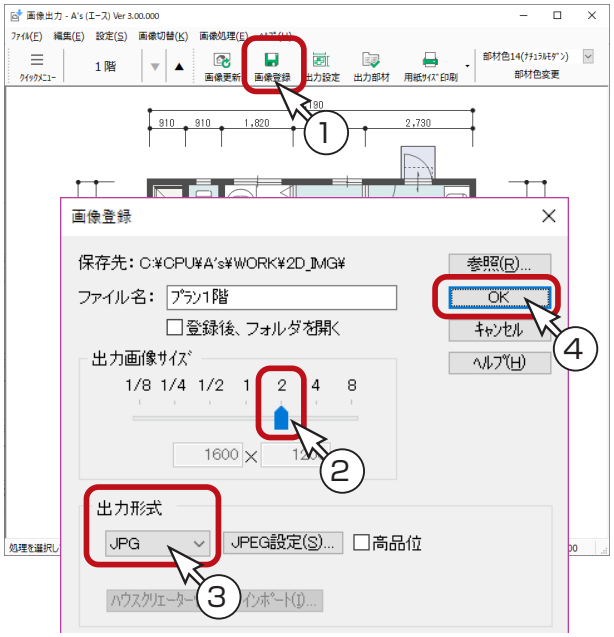
②ツールバーの （画像出力）をクリック

＊処理後、別ウィンドウに平面図のカラー画像が表示されます。



画像登録

「画像出力」の画面に表示している画像を、名前を付けて保存することができます。



① （画像登録）をクリック

＊ダイアログが表示されます。

②出力画像サイズが「2」であることを確認

③出力形式が「JPG」であることを確認

＊「JPG」は、ファイルサイズが小さく、データの受け渡しに適しています。

④「OK」をクリック

「登録後、フォルダを開く」にチェックを入れると、保存先のフォルダを素早く開くことができます。

表示している画像は、「編集」⇒「コピー」を選択、または [Ctrl] + C でコピーできます。
[Ctrl] + V で、ワード・エクセル・パワーポイントなどに貼り付けが可能です。

２階の画像出力

１階の平面図（画像）を作成したら、次に２階の平面図（画像）を作成してみましょう。

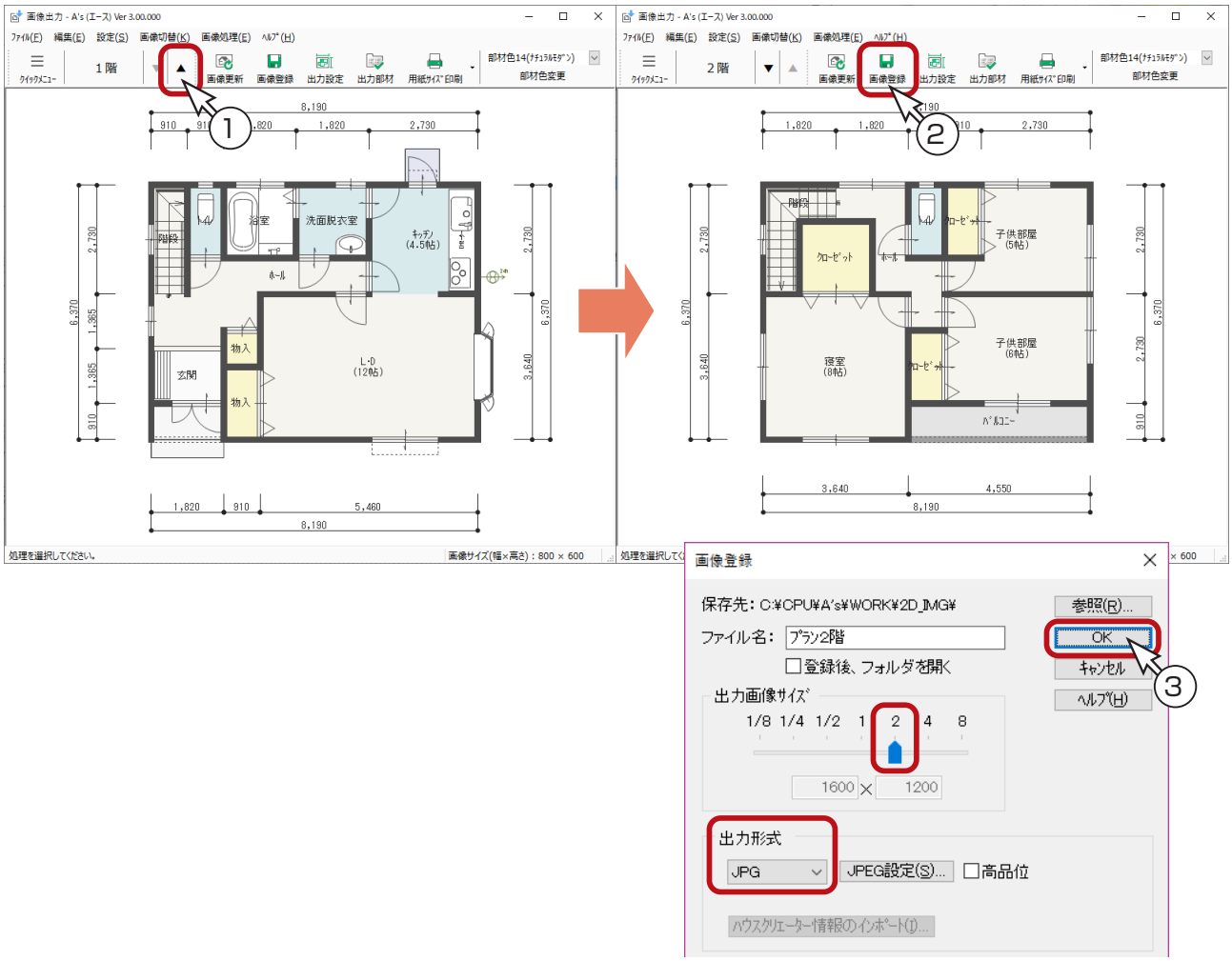
①「画像出力」画面の （上階選択）をクリック

＊２階プランの平面図のカラー画像が表示されます。

② （画像登録）をクリック

＊ダイアログが表示されます。

③出力画像サイズが「２」、出力形式が「JPG」であることを確認し、「OK」をクリック

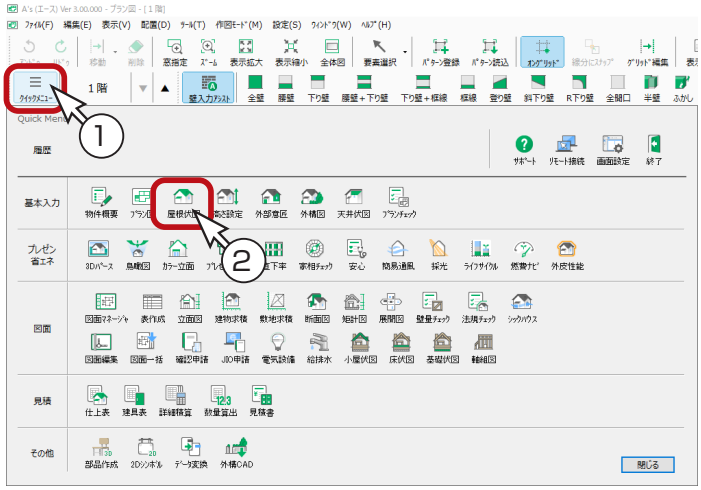


各階画像出力サイズの統一について

（出力設定）の「各階の出力位置・縮尺を合わせる」にチェックが入っていると、各階の画像出力の建物位置と縮尺を一致させることができます。

3 屋根伏図

屋根伏図の起動



①クイックメニューをクリック

② （屋根伏図）をクリック

＊メインメニューから起動することもできます。
＊１階屋根伏図のウィンドウが表示されます。

③この物件では、１階に屋根はありませんので、

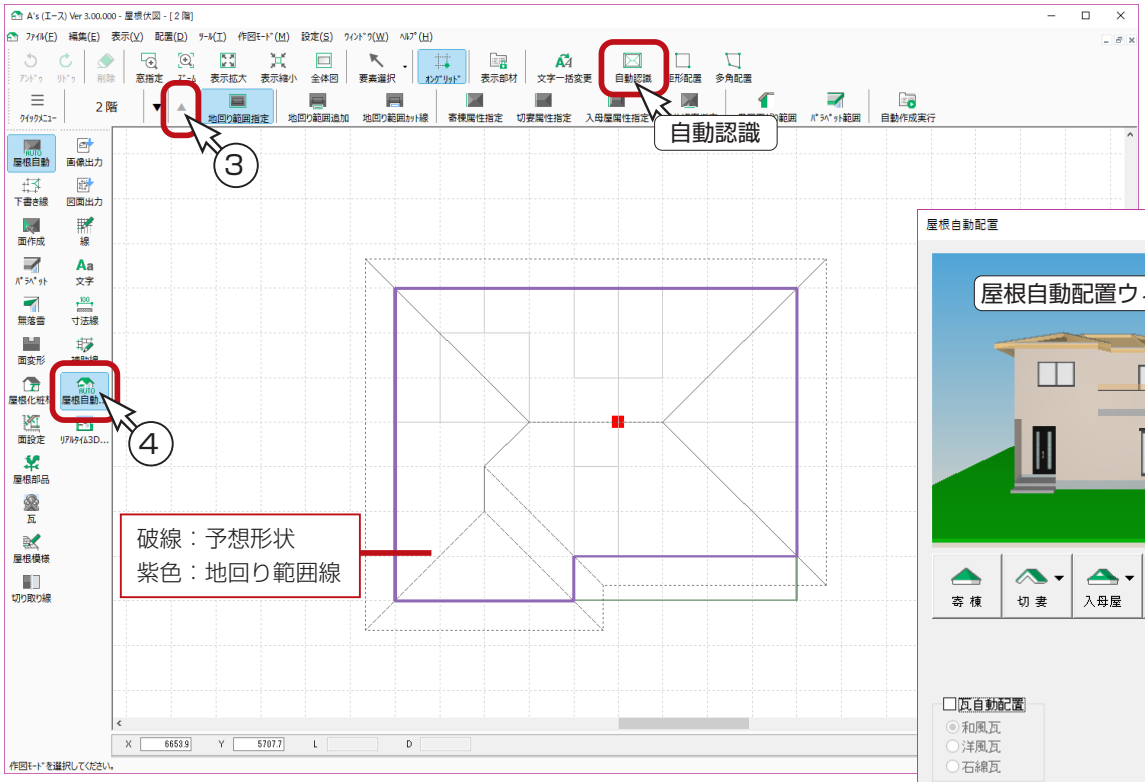
階層ボタンの （上階選択）をクリック

＊２階屋根伏図のウィンドウが開き、屋根の予想形状も表示されます。

④

（屋根自動配置）をクリック

＊ここでは、屋根自動配置を利用して、２階の屋根を入力してみましょう。

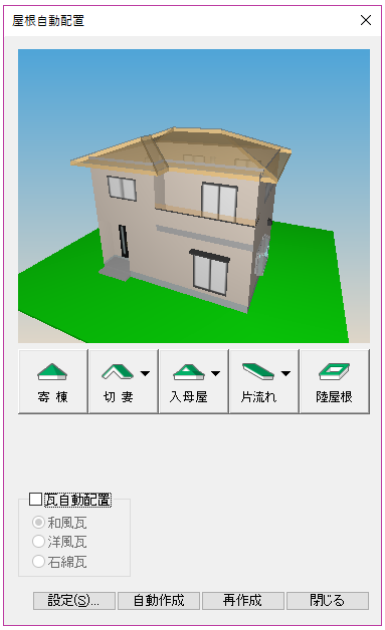


予想形状が表示されない場合は、 （自動認識）をクリックしてください。

屋根自動配置ウィンドウの操作

屋根自動配置ウィンドウでは、マウス操作により、建物の回転や移動ができます。
下の表を参考に、屋根形状がわかるように、表示を変えてみてください。

マウス操作	動作	ポインタ	マウス操作	動作	ポインタ
左ドラッグ	建物中心回転		Shift＋左ドラッグ	視点中心回転	
右ドラッグ	建物回転 視点位置移動		Shift＋右ドラッグ	視点位置移動	
中ドラッグ	上下左右移動				



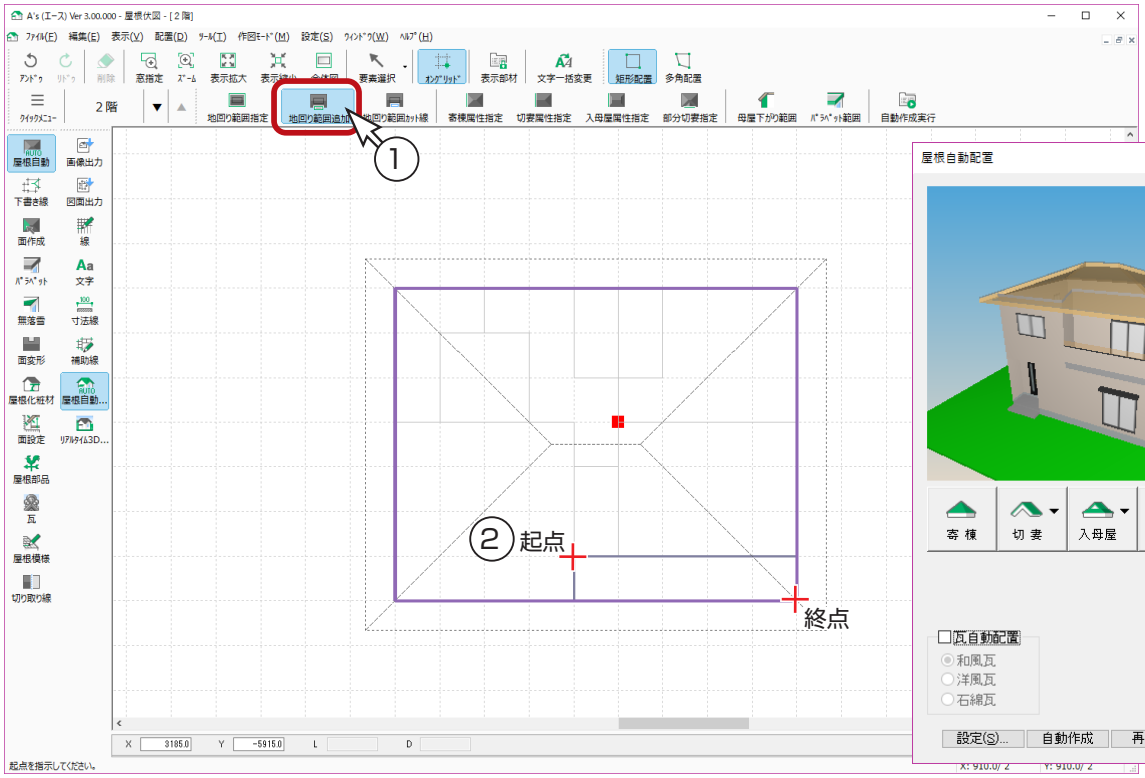
地回り範囲の追加

ベランダの上に、屋根範囲を追加してみましょう。

① （地回り範囲追加）をクリック

②以下のように、起点ー終点を指示

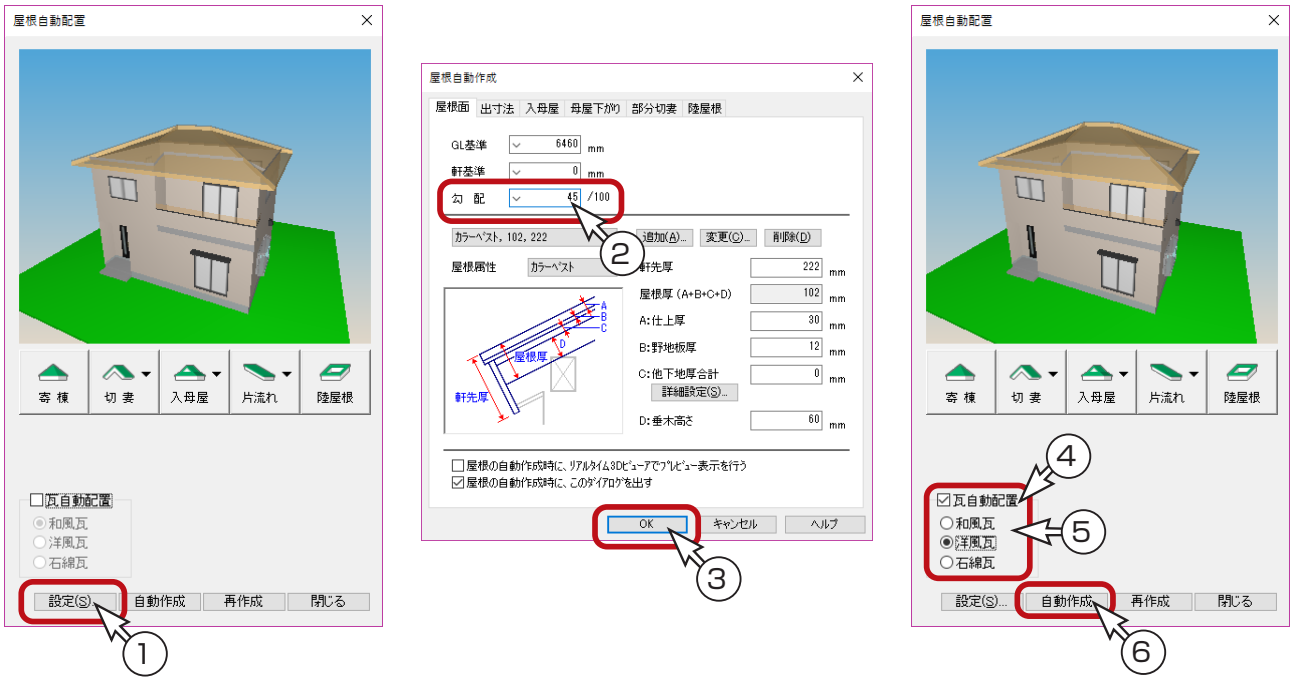
＊屋根の予想形状、屋根自動配置ウィンドウの表示も変わります。

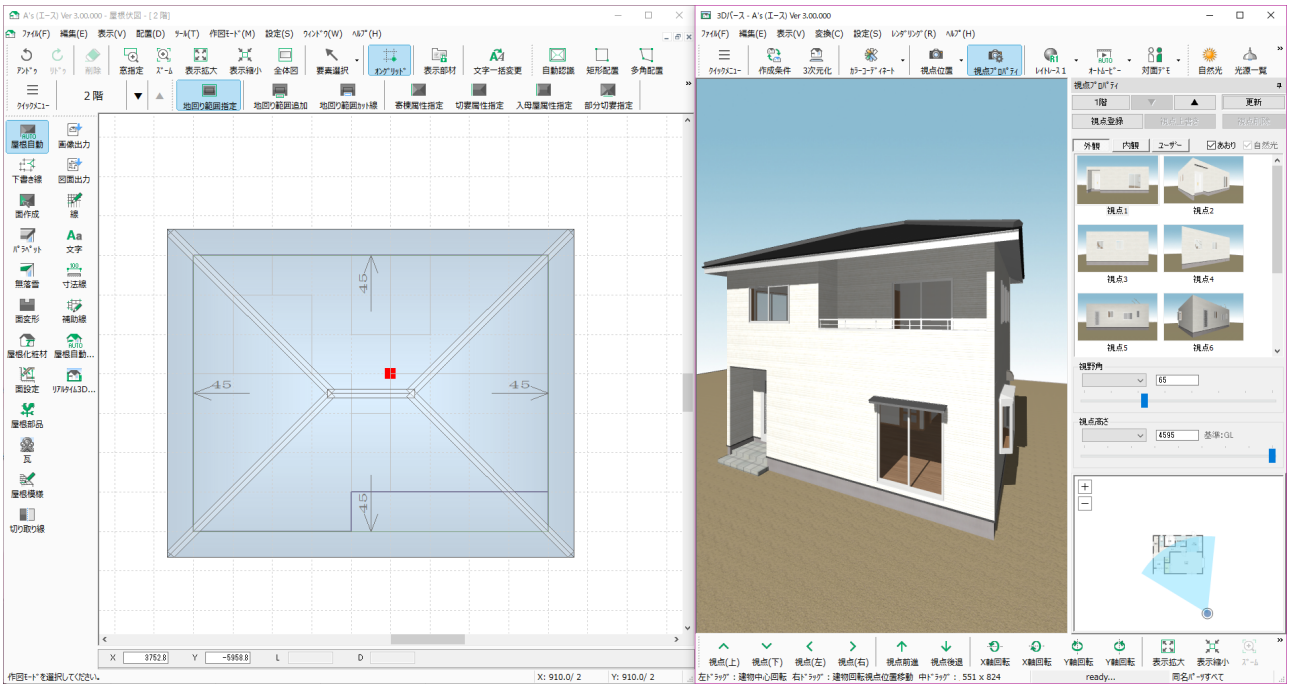


屋根自動配置

①屋根自動配置ウィンドウの「設定」をクリック
　＊ダイアログが表示されます。
②勾配を「45」に設定
③「OK」をクリック
④「瓦自動配置」にチェックを入れる
⑤「洋風瓦」を選択
⑥「自動作成」をクリック
　＊屋根伏図ウィンドウの屋根面に、勾配と流れ方向が表示されます。
　＊屋根自動配置の屋根表示も変わります。

最後の設定を引き継ぐ
屋根の基準高さ、勾配などは、最後の設定を引き継ぎます。



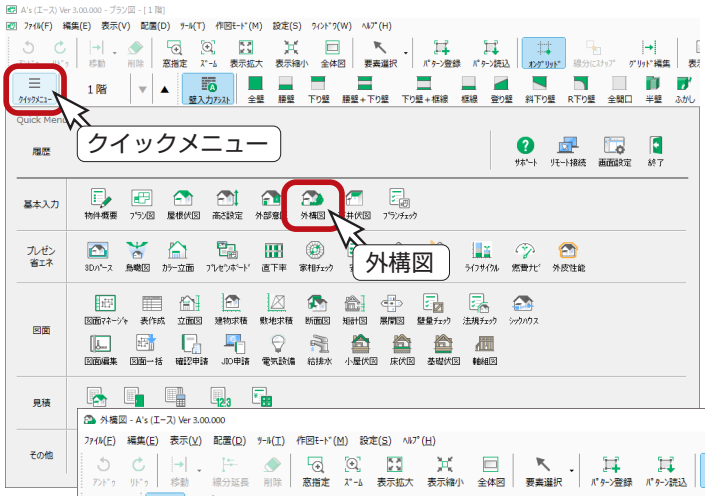


屋根も、3D パースで確認できます。

4 外構図

「外構図」では、敷地形状の入力のほか、敷地面に高低を設定したり、外構部品（門扉・塀・樹木等）を配置したりすることができます。
外構図の入力データは、「敷地求積図」「配置図図面出力」「法規チェック」に利用されるほか、「3D パース」や「立面図」にも反映されます。

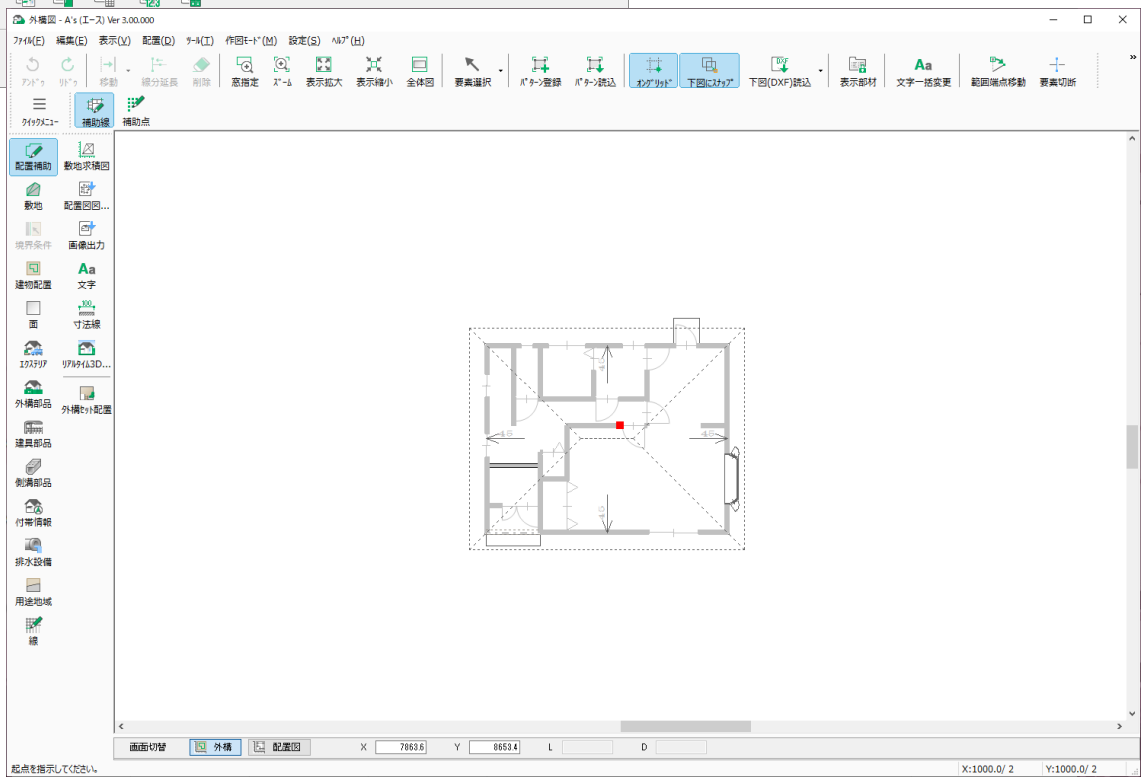
外構図の起動



クイックメニュー、またはメインメニューの

（外構図）をクリックしてください。

外構図のウィンドウが表示されます。
外構図を起動した際は、建物線と屋根線のみが表示されます。



外構セット配置

予め登録してある外構データを一括で読み込むことによって、簡単操作で外構データ付きの建物をプレゼンに利用できます。

① （外構セット配置）をクリック

＊外構セットデータを選択する画面が表示されます。

②左側のツリーから「03_ オプション 1-【広間口タイプ】」の「オープン」をクリック

③右側のサムネイルから「オープン W20」をクリック

＊表示イメージやサムネイルサイズの切替が可能です。

④「取込み」をクリック

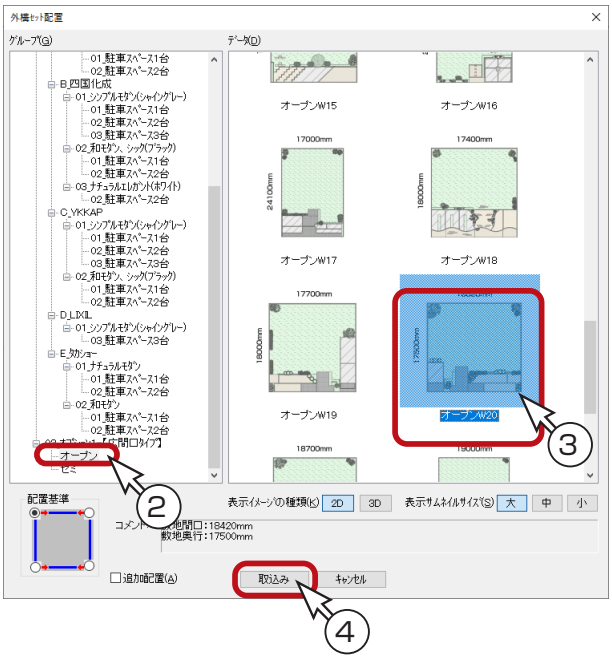
＊敷地線、外構データが存在する場合は、既存データの扱いを選択できます。

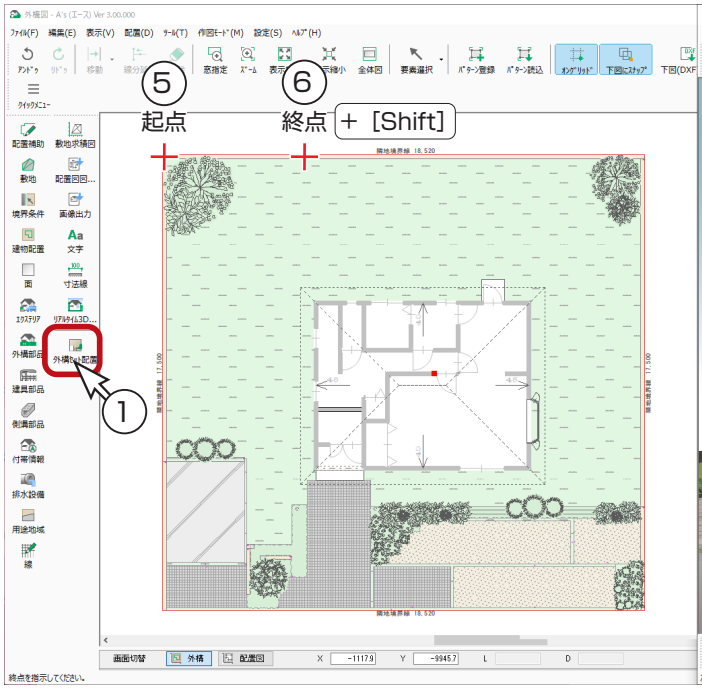
⑤下図のように、起点を指示

⑥ [Shift] キーを押しながら、終点を指示

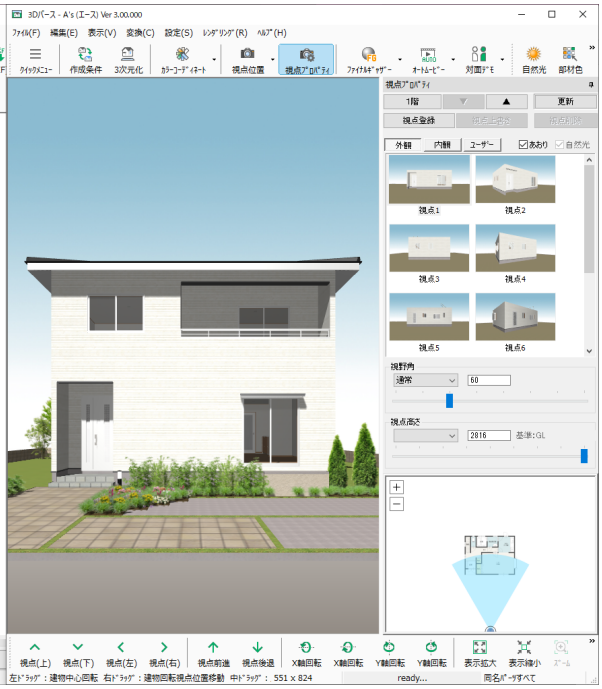
＊起点は配置基準の設定位置です。終点で配置方向を指示します。
建物の周辺と玄関の位置に合わせて配置します。

＊起点－終点の長さは、短くても長くてもかまいません。





外構セットデータのアプローチと、建物の玄関を合わせるようにします。

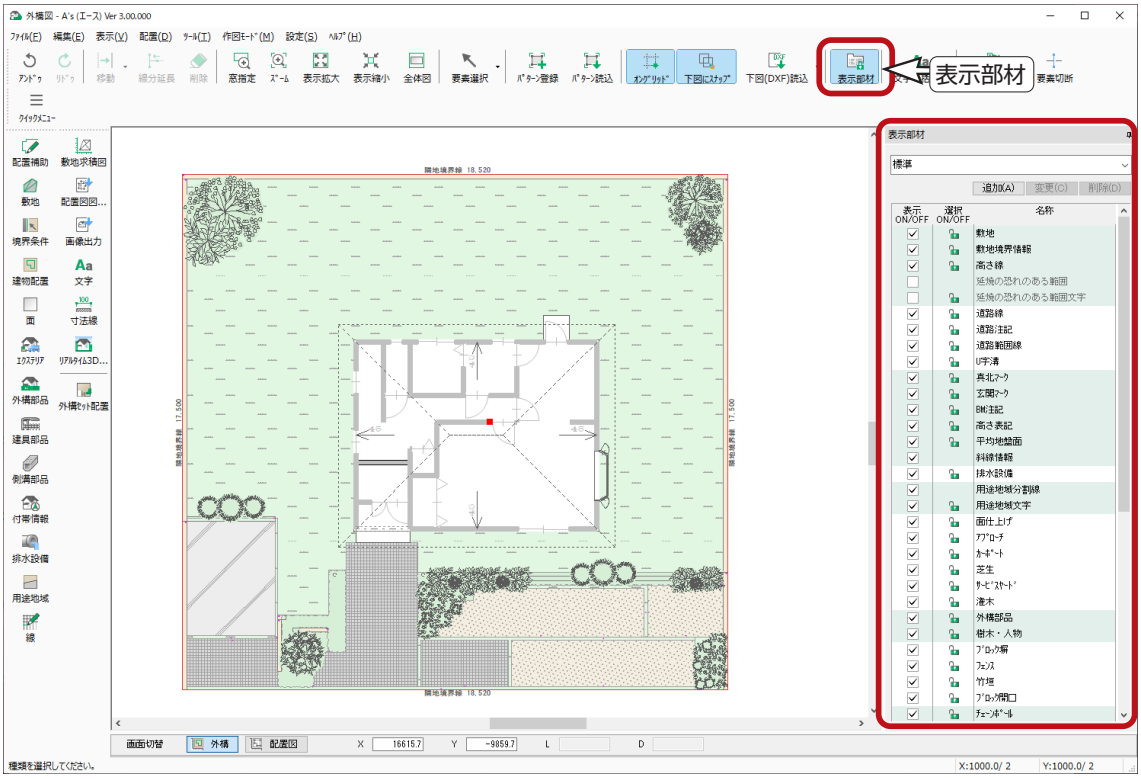


外構図も、3D パースで確認できます。

表示部材の利用

（表示部材）をクリックすると、画面右側に表示部材一覧が表示されます。

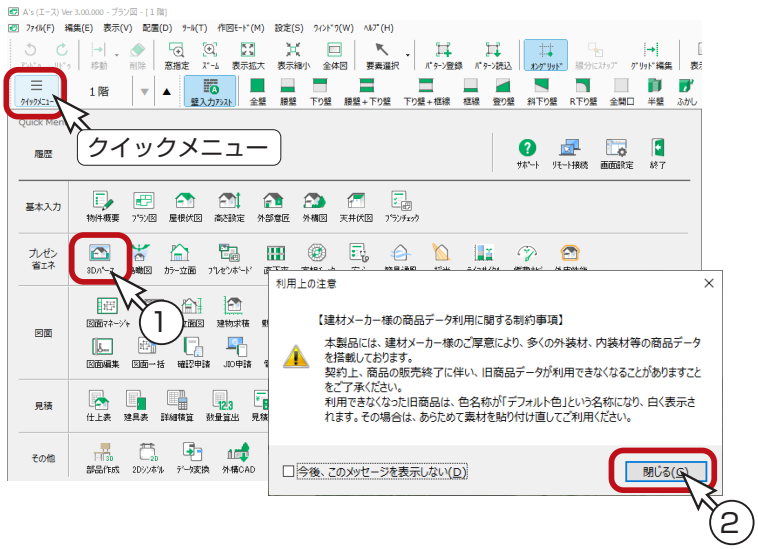
表示部材一覧では、部材の表示 / 非表示のほか、要素選択のロック / 解除も可能です。



表示部材は、プラン図、屋根伏図など、アプリケーション共通の機能です。

5 3D パース

3D パースの起動



①クイックメニュー、またはメインメニューの (3D パース) をクリック

②利用上の注意が表示された場合は、内容を確認の上、「閉じる」をクリック

＊「今後、このメッセージを表示しない」のチェックが可能です。

＊ 3D パースの画面が表示されます。

3D パースを既に起動中の場合は、再起動の必要はありません。
以下の画面は、画面を最大化しています。

リアルシェーディング

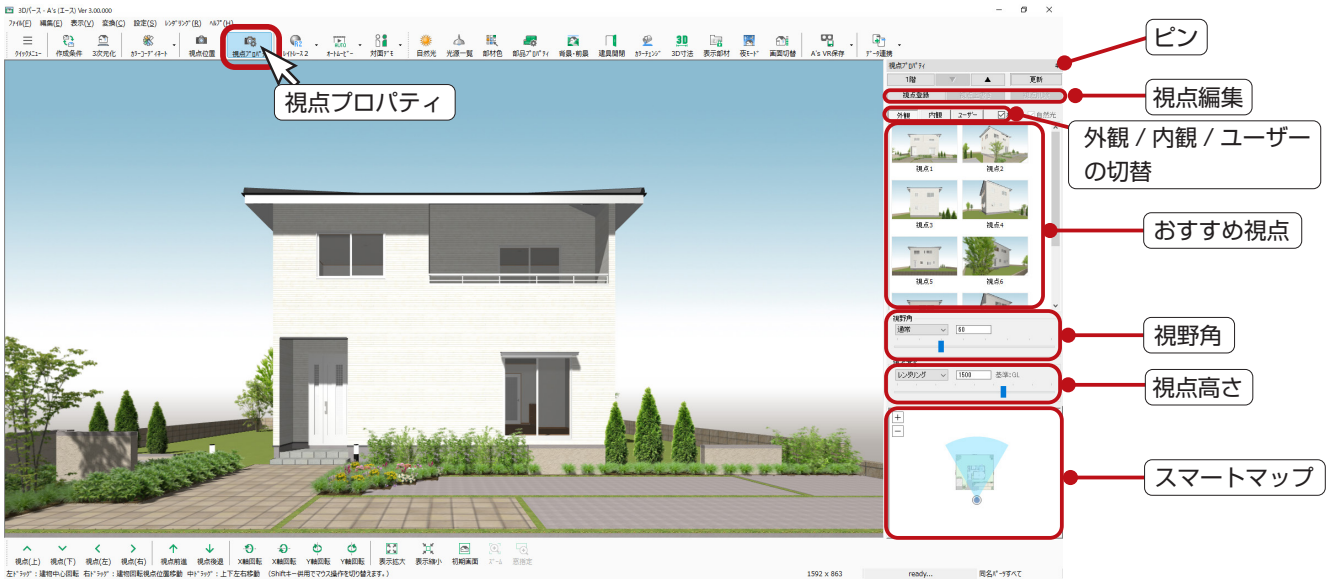
初期表示は、 (リアルシェーディング（高）) です。「テクスチャ」「樹木・人物」「背景」「グラデーション」も表示した状態で、リアルタイムにスムーズなウォークスルーが可能です。
操作方法はステータスバーに表示されていますが、表も参考に自由にウォークスルーしてください。
ご使用の環境により、動きがスムーズでない場合は、「画面切替」で画面表示のクオリティを切り替えてご利用ください。

マウス操作	外観		内観	
左ドラッグ	建物中心回転		視点中心回転	
右ドラッグ	建物回転 視点位置移動		視点位置移動	
中ドラッグ	上下左右移動		上下左右移動	
Shift＋ 左ドラッグ	視点中心回転		建物中心回転	
Shift＋ 右ドラッグ	視点位置移動		建物回転 視点位置移動	

視点プロパティ

視点プロパティを表示すると、外観、内観のおすすめ視点に素早く移動したり、スマートマップ（簡易平面）で視点位置や方向を設定することができます。また、視点情報の登録、読込、削除も簡単にできます。

（視点プロパティ）で表示／非表示を切り替えます。



視点設定・登録

外観パース図を作成する視点を決めます。
視点決定後は、登録しておくことによって、移動した場合でも素早く同じ視点に戻すことができます。
視点プロパティを表示している場合は、「視点登録」をクリックするだけで、視点情報を登録することができます。

視点情報には、現在表示している視点位置の他に、背景・前景と自然光設定も含まれます。
また、画面表示の状態（「リアルシェーディング」「シェーディング」など）も含まれます。

ファイナルギャザー

ファイナルギャザーのレンダリングを実行してみましょう。

①レンダリングモードは初期は

（レイトレース 1）なので、 をクリックして、

（ファイナルギャザー）を選択

＊メニューバーの「レンダリング」から選択することもできます。
ショートカットキーは［3］です。（日本語入力 OFF で有効）

＊ダイアログが表示されます。

②サイズは「A4」、品質は「高品質」に設定

＊「詳細設定」をクリックすると、ダイアログが下に広がり、明るさなどを設定できます。
外観と内観で、「詳細設定」の設定項目は異なります。

③「レンダリング」をクリック

④メッセージが表示されますので、内容をご確認の上、「実行」をクリック

＊レンダリングが別ウィンドウで実行されます。

レンダリング画面の表示サイズは、画像サイズとは異なる場合があります。
表示速度アップのために、調整したサイズになっています。
実際の画像サイズは、画像編集ソフトなどでご確認ください。

レンダリング中は、進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。
ファイナルギャザーレンダリングは、お使いのパソコンによって所要時間が異なります。
レンダリング中に「キャンセル」をクリックすると、処理を途中で終了します。［Esc］キーを押す、または右クリックしても同様です。

レンダリング画像の登録

レンダリング実行後の画面にて、レンダリング画像を登録することができます。

①「保存」をクリック
　＊「ファイル」⇒「画像登録」を選択してもかまいません。
　＊ダイアログが表示されます。
②出力形式が「JPG」であることを確認
　＊「JPG」は、ファイルサイズが小さく、データの受け渡しに適しています。
　＊その他も、初期の状態を使用します。
③「OK」をクリック

「登録後、フォルダを開く」にチェックを入れると、「OK」をクリックした後に、保存先に表示されているフォルダを開きます。

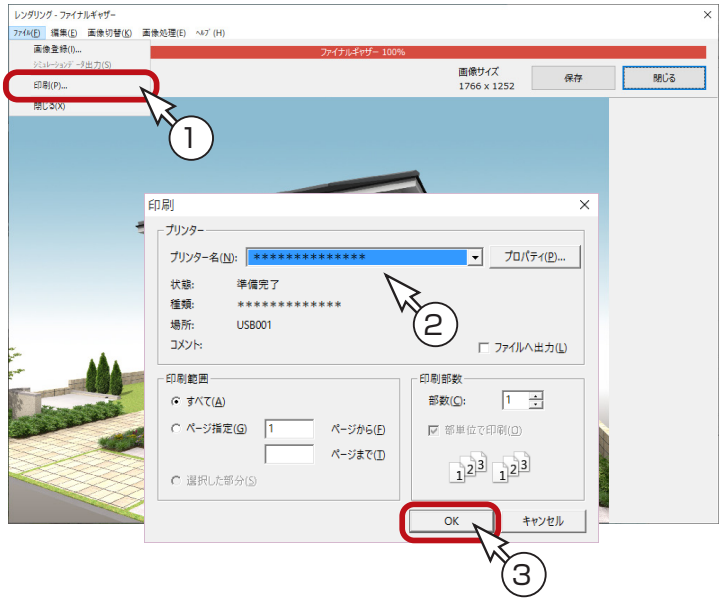
「高品位」にチェックを入れると、アンチエイリアス処理により斜めの線が滑らかになりますので、特にパース図の画像で効果がありますが、登録に時間を要します。

画像のコピー&ペースト

レンダリング画像は、Ctrl+C でコピーし、Ctrl+V でワード・エクセル・パワーポイントなどに貼付が可能です。

レンダリング画像の印刷

レンダリング実行後の画面にて、平面画像と同様に印刷することができます。



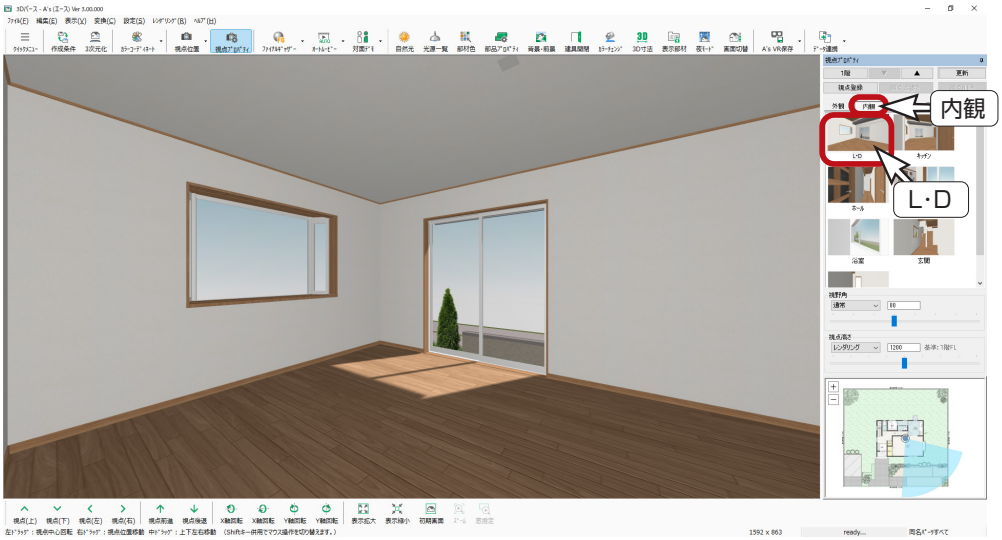
①「ファイル」⇒「印刷」を選択
　＊ダイアログが表示されます。
②プリンター名、印刷部数などを設定
　＊プリンター名を設定後「プロパティ」をクリックすると、用紙サイズ、印刷方向などを設定できます。
③「OK」をクリック
　＊印刷が実行されます。

用紙に自動レイアウト

画像出力の印刷では、設定した用紙サイズの印刷可能範囲に、自動レイアウトで印刷されます。
大きさの指定はできません。

内観パース

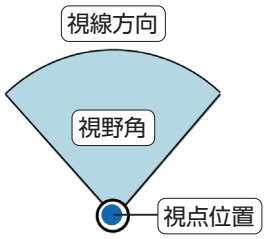
内観パースを作成してみましょう。
視点プロパティで「内観」タブを表示すると、内観のおすすめ視点が表示されます。
例えば、「L·D」をクリックすると、以下のような表示になります。

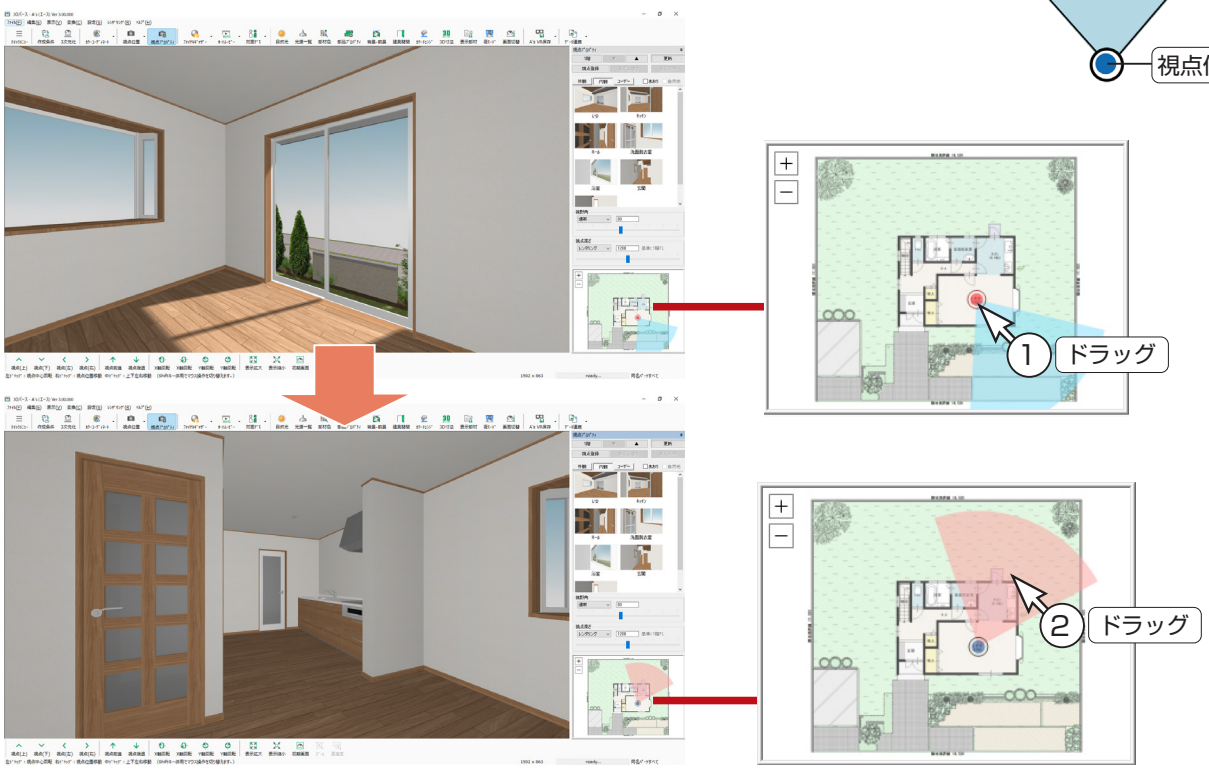


視点設定

それでは、スマートマップを使用して、視点を設定してみましょう。

①スマートマップの視点位置にマウスを合わせて、L·D の中央までドラッグ
②スマートマップの視野角にマウスを合わせて、キッチン方向を見るようにドラッグ

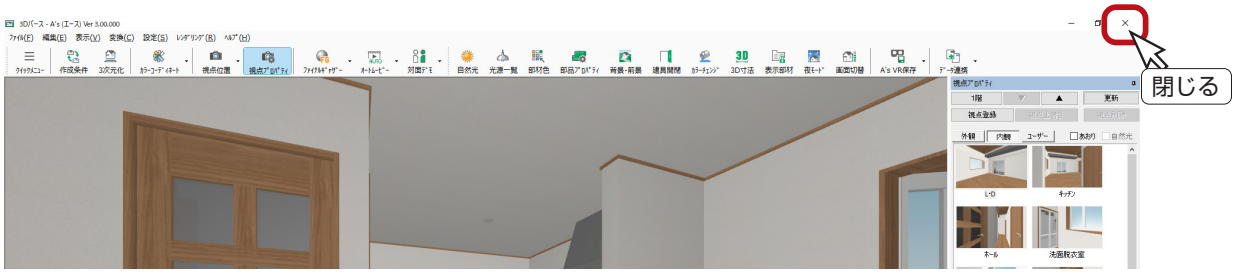




視点設定後は、外観パースと同様に、レンダリングや画像の登録や印刷を実行してください。

アプリケーションの終了

起動しているアプリケーションのタイトルバー右端の（閉じる）をクリック、もしくは「ファイル」⇒「終了」とクリックしてください。

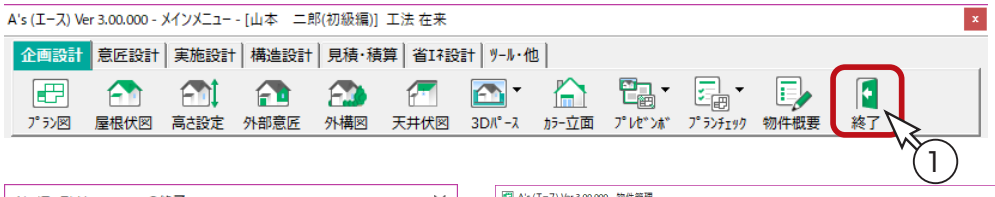


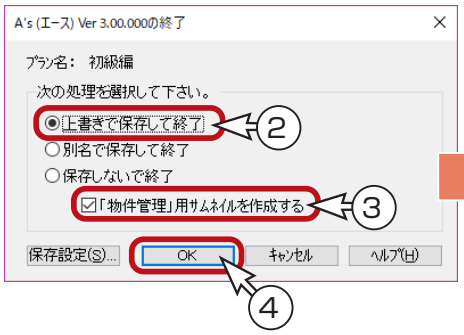
起動しているアプリケーションは、全て同様に終了させてください。

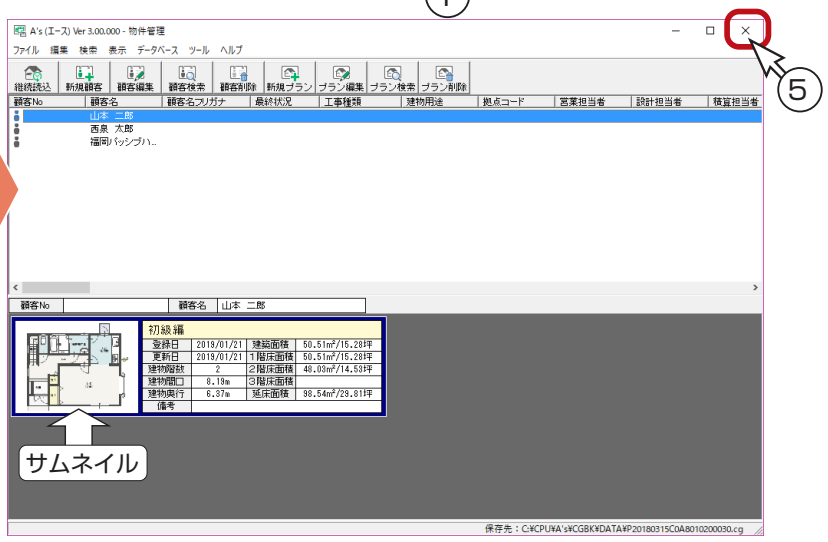
データの保存・終了

データを正式に保存し、終了しましょう。

①メインメニューの（終了）をクリック
②終了の画面が表示されますので、「上書きで保存して終了」が選択されていることを確認
③「「物件管理」用サムネイルを作成する」にチェックが入っていることを確認
④「OK」をクリック
　＊保存処理後、物件管理の画面に戻ります。
⑤タイトルバー右端の（閉じる）をクリック、もしくは「ファイル」⇒「終了」とクリック







1) 本書の内容の一部、または全部を株式会社シーピーユーの書面による許可なく複製、送信すること、及び他の言語に翻訳することを禁じます。
2) 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
3) 本書は予告なく変更することがあります。
4) 本書とプログラムの動作が異なる場合は、プログラムが優先します。尚、README に最新情報が記載されていますのでご利用ください。
5) 表記上の固有商品は各社の商標または登録商標です。

A's（エース）Ver.3 トレーニングマニュアル
初級編

2020 年 6 月 30 日　第 2 版発行

発行所　株式会社シーピーユー
〒 921-8043　金沢市西泉 4-60
［大 代 表］ TEL　(076) 241-0001
FAX　(076) 241-0002